Dell Latitude E5430
オーナーズマニュアル

規制モデル： P27G
規制タイプ： P27G001

目次

コンピューター内部の作業

コンピューター内部の作業を始める前に

コンピューターの損傷を防ぎ、ユーザー個人の安全を守るため、以下の安全に関するガイドラインに従ってください。特記がない限り、本書に記載される各手順は、以下の条件を満たしていることを前提とします。

- コンピューターに付属の「安全に関する情報」を読んでいること。
- コンポーネントは交換可能であり、別売りの場合は取り外しの手順を逆順に実行すれば、取り付け可能であること。

警告: コンピューター内部の作業を始める前に、コンピューターに付属の「安全に関する情報」に目を通してください。安全に関するベストプラクティスについては、規制コンプライアンスに関するホームページ（www.dell.com/regulatory_compliance ）を参照してください。

注意: 修理作業の多くは、認定されたサービス技術者のみが行うことができます。製品マニュアルで許可されている範囲に限り、またはオンラインサービスもしくは電話サービスとサポートチームの指示によってのみ、トラブルシューティングと簡単な修理を行うようにしてください。デルで認められていない修理（内部作業）による損傷は、保証の対象となりません。製品に付属しているマニュアルの「安全にお使いいただくために」をお読みになり、指示に従ってください。

注意: 静電気による損傷を避けるため、静電気防止用リストバンドを使用するか、またはコンピューターの裏面にあるコネクターなどの塗装されていない金属面に定期的に触れて、静電気を身体から除去してください。

注意: コンポーネントとカードは丁寧に取り扱ってください。コンポーネント、またはカードの接触面に触らないでください。カードは端、または金属のマウンティングブラケットを持ってください。プロセッサーなどのコンポーネントはピンではなく、端を持ってください。

注意: ケーブルを外す場合は、ケーブルのコネクターかプルタブを持って引き、ケーブル自体を引っ張らないでください。コネクターにロッキングタブが付いているケーブルもあります。この場合、ケーブルを外す前にロッキングタブを押さえてください。コネクターを引き抜く場合、コネクターピンが曲がらないように、均一に力をかけてください。また、ケーブルを接続する前に、両方のコネクターが同じ方向を向き、きちんと並んでいることを確認してください。

メモ: お使いのコンピューターの色および一部のコンポーネントは、本書で示されているものと異なる場合があります。

コンピューターの損傷を防ぐため、コンピューター内部の作業を始める前に、次の手順を実行してください。

1. コンピューターのカバーに傷がつかないように、作業台が平らであり、汚れていないことを確認します。
2. コンピューターの電源を切ります（「コンピューターの電源を切る」を参照）。

注意: ネットワークケーブルを外すには、まずケーブルのプラグをコンピューターから外し、次にケーブルをネットワークデバイスから外します。

3. コンピューターからすべてのネットワークケーブルを外します。
4. コンピューターおよび取り付けられているすべてのデバイスをコンセントから外します。
5. システムのコンセントが外されている状態で、電源ボタンをしばらく押して、システム基板の静電気を除去します。
6. カバーを取り外します。

注意: コンピューターの内部に触れる前に、コンピューターの裏面など塗装されていない金属面に触れ、静電気を除去します。作業中は定期的に塗装されていない金属面に触れ、内部コンポーネントを損傷する恐れのある静電気を放出してください。

コンピューターの電源を切る

注意: データの損失を防ぐため、コンピューターの電源を切る前に、開いているファイルはすべて保存して閉じ、実行中のプログラムはすべて終了してください。

1. オペレーティングシステムをシャットダウンします。
   - Windows 7 の場合：

     スタート をクリックします。 次に、**シャットダウン**をクリックします。
   - Windows Vista の場合：

     スタート をクリックします。 以下に示すように**スタート**メニューの右下の矢印をクリックし、**シャットダウン**をクリックします。

   - Windows XP の場合：

     スタート → 終了オプション → 電源を切るの順にクリックします。オペレーティングシステムのシャットダウンプロセスが完了したら、コンピューターの電源が切れます。
2. コンピューターと取り付けられているデバイスすべての電源が切れていることを確認します。オペレーティングシステムをシャットダウンしてもコンピューターとデバイスの電源が自動的に切れない場合、電源ボタンを 6 秒間押したままにして電源を切ります。

コンピューター内部の作業を終えた後に

交換（取り付け）作業が完了したら、コンピューターの電源を入れる前に、外付けデバイス、カード、ケーブルなどが接続されていることを確認してください。

1. カバーを取り付けます。

注意: ネットワークケーブルを接続するには、まずケーブルをネットワークデバイスに差し込み、次にコンピューターに差し込みます。

2. 電話線、またはネットワークケーブルをコンピューターに接続します。
3. コンピューター、および取り付けられているすべてのデバイスをコンセントに接続します。
4. コンピューターの電源を入れます。
5. 必要に応じて Dell 診断を実行して、コンピューターが正しく動作することを確認します。

コンポーネントの取り外しと取り付け

このセクションには、お使いのコンピューターからコンポーネントを取り外し、取り付ける手順についての詳細な情報が記載されています。

奨励するツール

この文書で説明する操作には、以下のツールが必要です。

- 細めのマイナスドライバー
- プラスドライバー
- 小型のプラスチックスクライブ

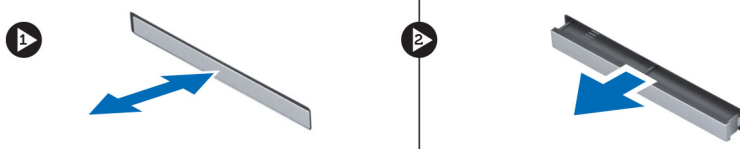
SD メモリカードの取り外し

1. 「コンピュータ内部の作業を始める前に」の手順に従います。
2. SD メモリカードを押し込んでロックを解除します。
3. SD メモリカードをコンピュータから引き出します。

SD メモリカードの取り付け

1. カチッと所定の位置に収まるまで、メモリカードをコンパートメントに押し込みます。
2. 「コンピュータ内部の作業の後で」の手順に従います。

ExpressCard の取り外し

1. 「コンピュータ内部の作業を始める前に」の手順に従います。
2. ExpressCard を押し込みます。
3. ExpressCard をコンピュータから引き出します。

ExpressCard の取り付け

1. ExpressCard をスロットに挿入し、カチッと所定の位置に収まるまで押し込みます。
2. 「コンピュータ内部の作業の後で」の手順に従います。

バッテリーの取り外し

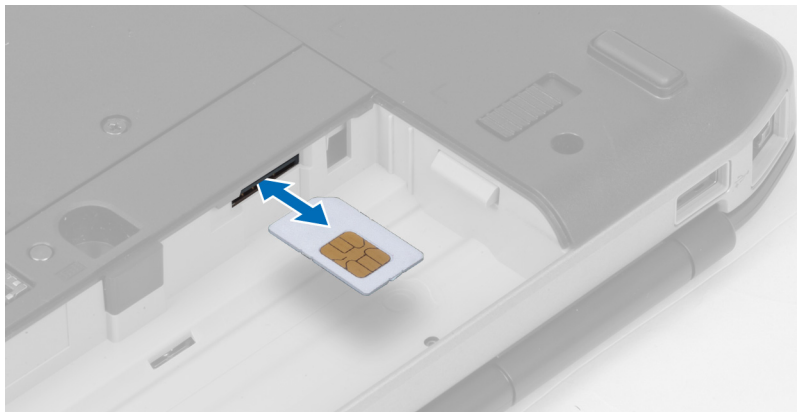
1. 「コンピュータ内部の作業を始める前に」の手順に従います。
2. バッテリーリリースラッチをアンロック位置にスライドさせます。

3. バッテリーをコンピュータから取り外します。

バッテリーの取り付け

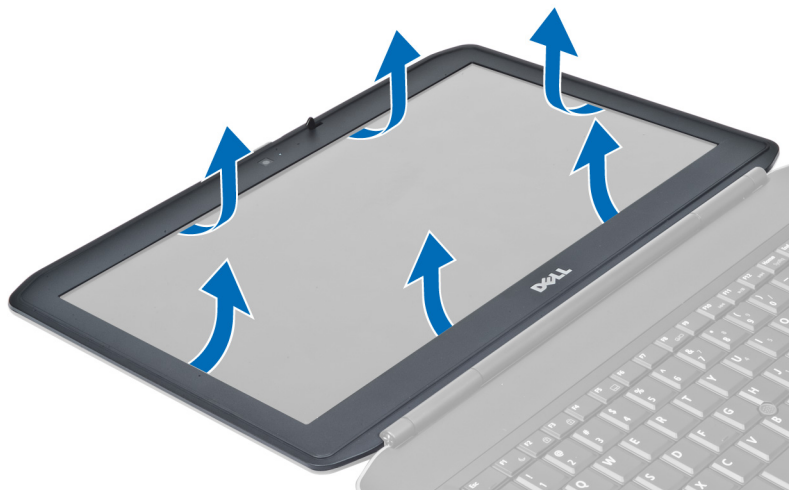
1. カチッと所定の位置に収まるまで、バッテリーをスロットに挿入します。
2. 「コンピュータ内部の作業の後で」の手順に従います。

加入者識別モジュール（SIM）カードの取り外し

1. 「コンピュータ内部の作業を始める前に」の手順に従います。
2. バッテリーを取り外します。
3. バッテリーウォールにある SIM カードを押してロックを解除します。
4. SIM カードをコンピュータから引き出します。

加入者識別モジュール（SIM）カードの取り付け

1. 加入者識別モジュール（SIM）カードをスロットに挿入します。
2. バッテリーを取り付けます。
3. 「コンピュータ内部の作業の後で」の手順に従います。

ディスプレイベゼルの取り外し

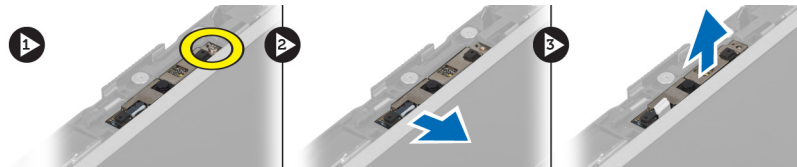
1. 「コンピュータ内部の作業を始める前に」の手順に従います。
2. バッテリーを取り外します。
3. ディスプレイベゼルの下端を持ち上げます。
4. ディスプレイベゼルの側面と上端も同じようにして持ち上げます。

5. ディスプレイベゼルをコンピュータから取り外します。

ディスプレイベゼルの取り付け

1. ディスプレイベゼルをディスプレイアセンブリに載せます。
2. ディスプレイベゼルの上端を最初に押し込み、ディスプレイアセンブリに完全にはまるまでベゼル全体を押し込みます。

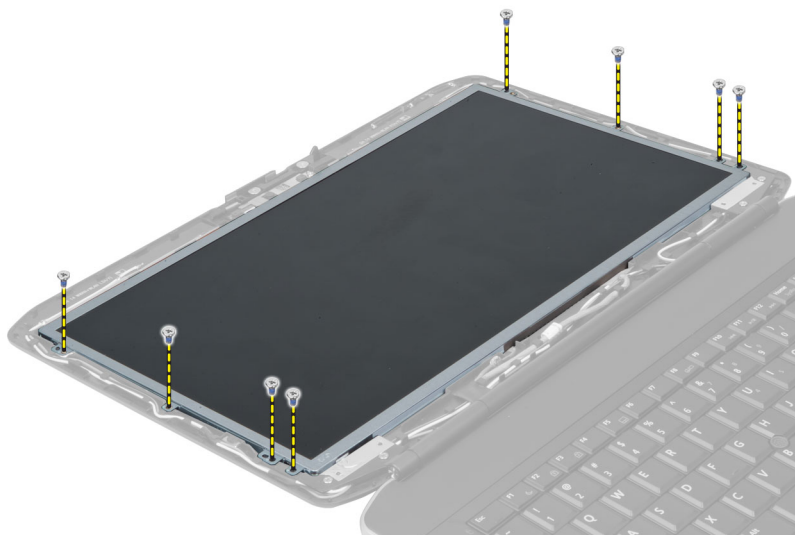
3. バッテリーを取り付けます。
4. 「コンピュータ内部の作業の後で」の手順に従います。

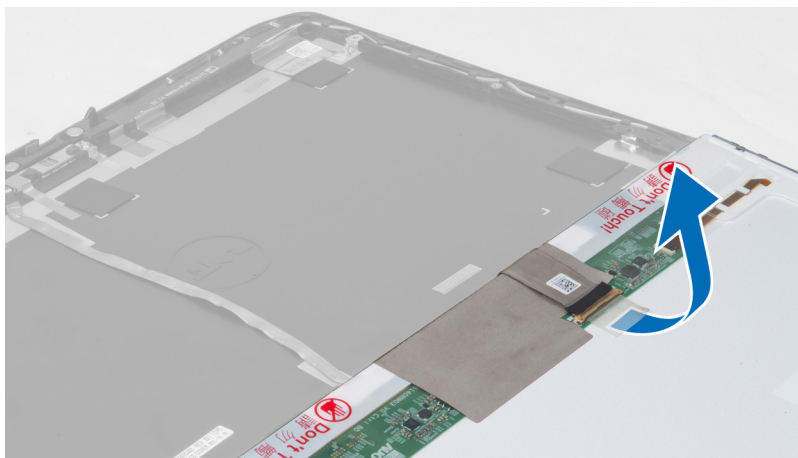
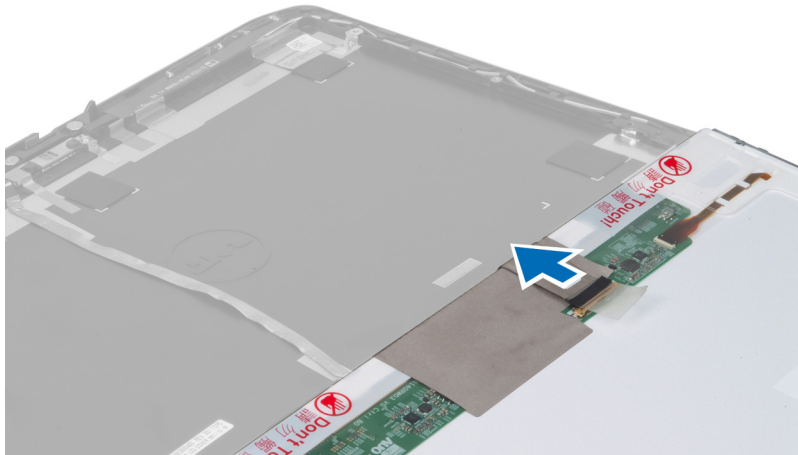
カメラの取り外し

1. 「コンピュータ内部の作業を始める前に」の手順に従います。
2. 次のコンポーネントを取り外します。
   a) バッテリー
   b) ディスプレイベゼル
3. カメラケーブルを外します。
4. カメラ / マイクモジュールを固定しているネジを外します。
5. カメラ / マイクモジュールを持ち上げて取り外します。

カメラの取り付け

1. カメラ / マイクモジュールをディスプレイベゼルの所定の位置に置きます。
2. カメラ / マイクモジュールを固定するネジを締めます。
3. カメラケーブルを接続します。
4. 次のコンポーネントを取り付けます。
   a) ディスプレイベゼル
   b) バッテリー
5. 「コンピュータ内部の作業の後で」の手順に従います。

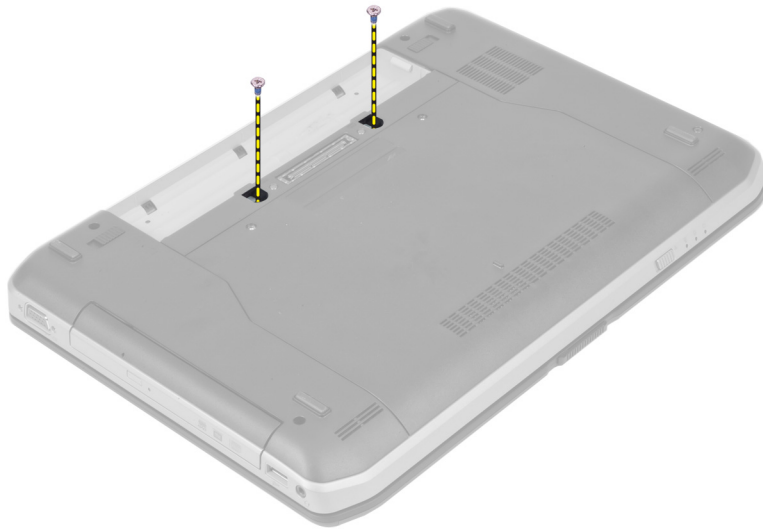
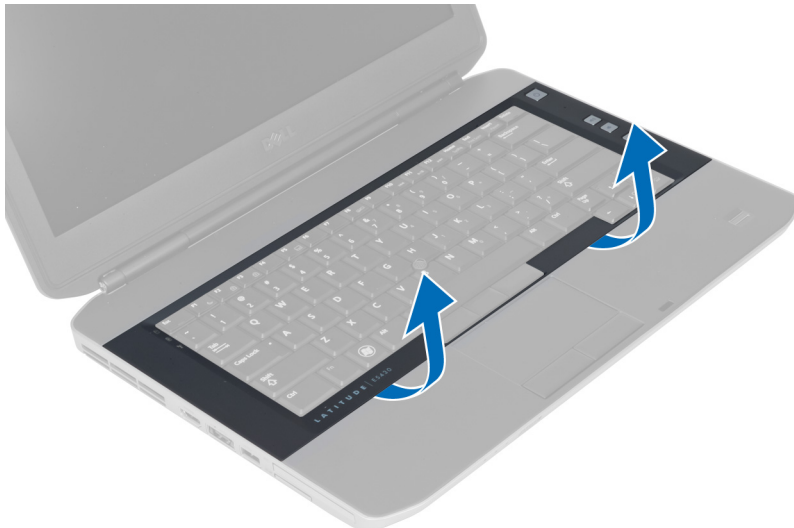
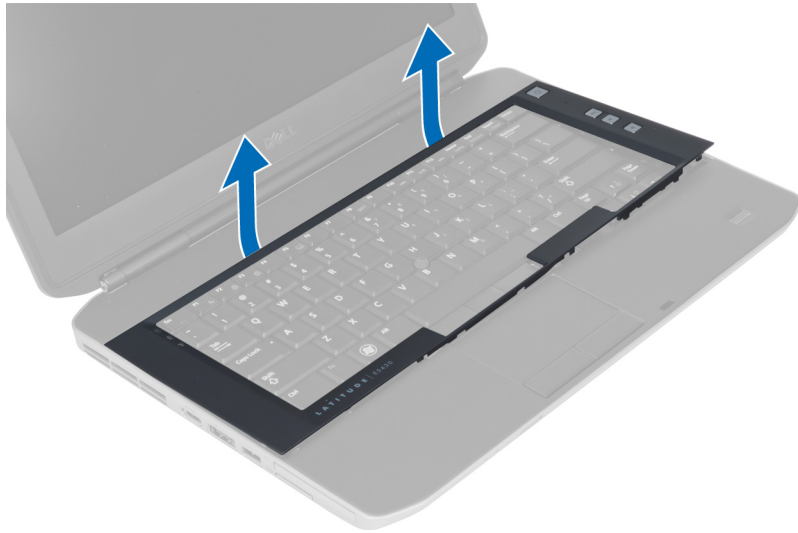
ディスプレイパネルの取り外し

1. 「コンピュータ内部の作業を始める前に」の手順に従います。
2. 次のコンポーネントを取り外します。
   a) バッテリー
   b) ディスプレイベゼル
3. ディスプレイパネルを固定しているネジを外します。

4. ディスプレイパネルを裏返します。

5. 透明シートテープを剥し、低電圧差動信号（LVDS）ケーブルをディスプレイパネルの背面から外します。

6. ディスプレイパネルをディスプレイアセンブリから取り外します。

ディスプレイパネルの取り付け

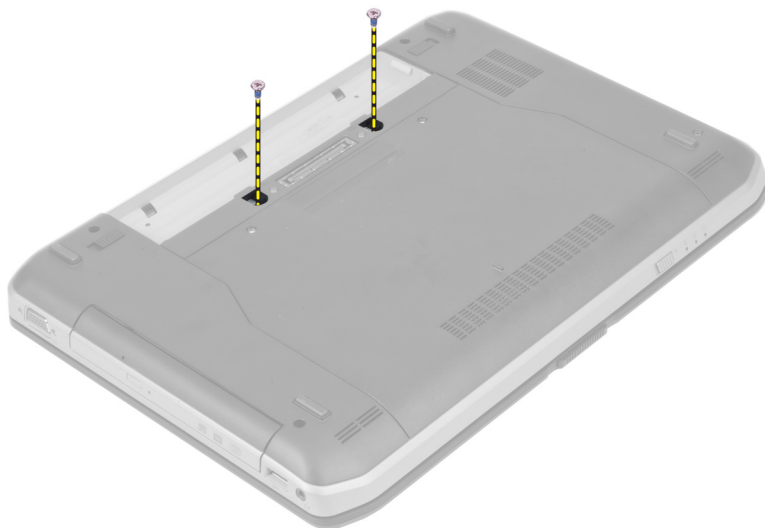
1. ディスプレイブラケットをディスプレイパネルに固定するネジを取り付けます。
2. ディスプレイパネルをディスプレイアセンブリに取り付けます。
3. ディスプレイパネルをコンピュータ内の元の位置に合わせます。
4. 低電圧差動信号（LVDS）ケーブルをディスプレイパネルに接続し、テープを取り付けます。
5. ディスプレイパネルを裏返し、ディスプレイパネルを固定するネジを取り付けます。
6. 次のコンポーネントを取り付けます。
    a) ディスプレイベゼル
    b) バッテリー
7. 「コンピュータ内部の作業の後で」の手順に従います。

キーボードトリムの取り外し

1. 「コンピュータ内部の作業を始める前に」の手順に従います。
2. バッテリーを取り外します。
3. コンピュータ背面のネジを外します。

4. キーボードトリムを下端から持ち上げて開きます。

5. キーボードトリムの側面と上端も同じようにして持ち上げます。
6. キーボードトリムを持ち上げてコンピュータから取り外します。

キーボードトリムの取り付け

1. キーボードトリムを所定のコンパートメントに合わせます。
2. カチッと所定の位置に収まるまで、キーボードトリムの両端を押し込みます。
3. バッテリーを取り付けます。
4. 「コンピュータ内部の作業の後で」の手順に従います。

キーボードの取り外し

1. 「コンピュータ内部の作業を始める前に」の手順に従います。
2. 次のコンポーネントを取り外します。
   a) バッテリー
   b) キーボードトリム
3. コンピュータ背面のネジを外します。

4. キーボードを固定しているネジを外します。

5. クリップを持ち上げてキーボードケーブルの固定を解除し、コンピュータから外します。
6. キーボードを裏返します。

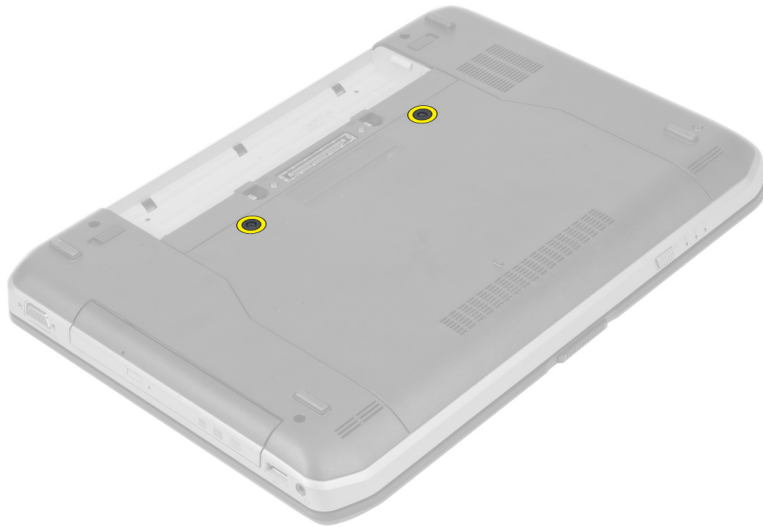
7. キーボードの平フレックスケーブルをキーボードの後部に固定している粘着テープを剥し、コンピュータから外します。

8. キーボードをコンピュータから取り外します。

キーボードの取り付け

1. キーボードの平フレックスケーブルをキーボードに取り付けます。
2. キーボードの平フレックスケーブルをキーボードに固定する粘着テープを貼ります。
3. すべての金属製タブが所定の位置に収まるまで、キーボードを所定のコンパートメントに挿入します。
4. キーボードケーブルクリップを締めます。
5. キーボードの左右を押し下げて、すべての留め具がコンピュータと完全に噛み合っていることを確認します。
6. キーボードをパームレストに固定するネジを取り付けます。
7. コンピュータ背面のネジを取り付けます。
8. 次のコンポーネントを取り付けます。
   a) キーボードトリム
   b) バッテリー
9. 「コンピュータ内部の作業の後で」の手順に従います。

アクセスパネルの取り外し

1. 「コンピュータ内部の作業を始める前に」の手順に従います。
2. バッテリーを取り外します。
3. アクセスパネルを固定しているネジを外します。

4. アクセスパネルをシステムの前方に引き出し、コンピュータから取り外します。

アクセスパネルの取り付け

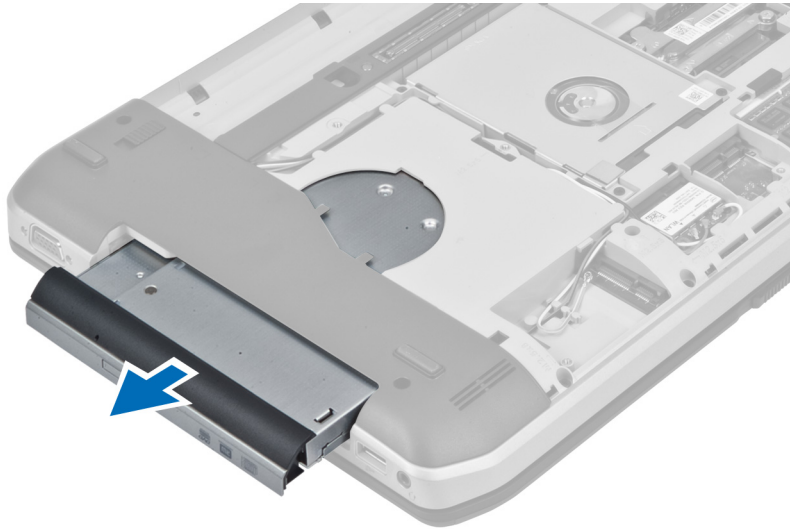
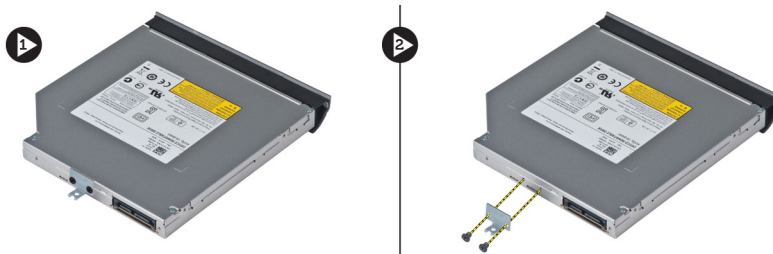
1. カチッと所定の位置に収まるまで、アクセスパネルをスロットに挿入します。
2. アクセスパネルをコンピュータに固定するネジを取り付けます。
3. バッテリーを取り付けます。
4. 「コンピュータ内部の作業の後で」の手順に従います。

オプティカルドライブの取り外し

1. 「コンピュータ内部の作業を始める前に」の手順に従います。
2. 次のコンポーネントを取り外します。
   a) バッテリー
   b) アクセスパネル

3. オプティカルドライブを固定しているネジを外します。

4. スクリュータブを押してコンピュータから外し、オプティカルドライブをドライブベイから外します。

5. オプティカルドライブをコンピュータから取り外します。

6. オプティカルドライブブラケットを固定しているネジを外します。
7. オプティカルドライブブラケットを取り外します。

8. オプティカルドライブベゼルのタブを外して、オプティカルドライブベゼルをオプティカルドライブから離します。
9. オプティカルドライブベゼルを取り外します。

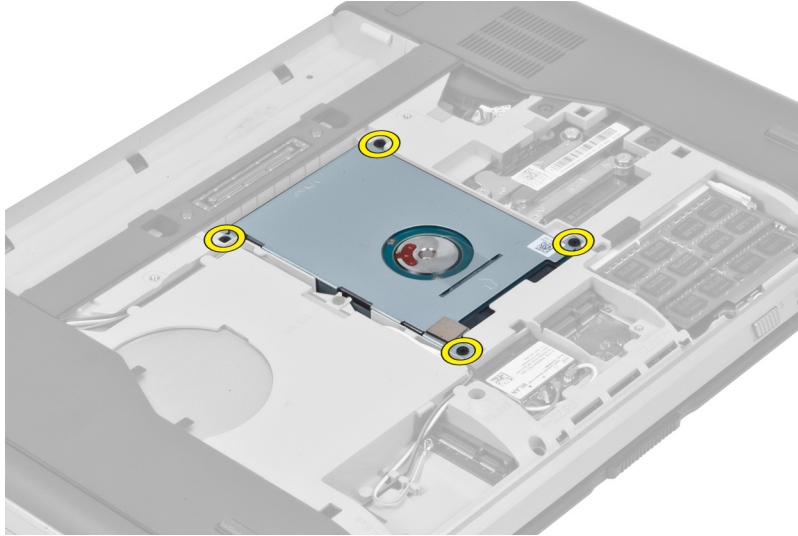
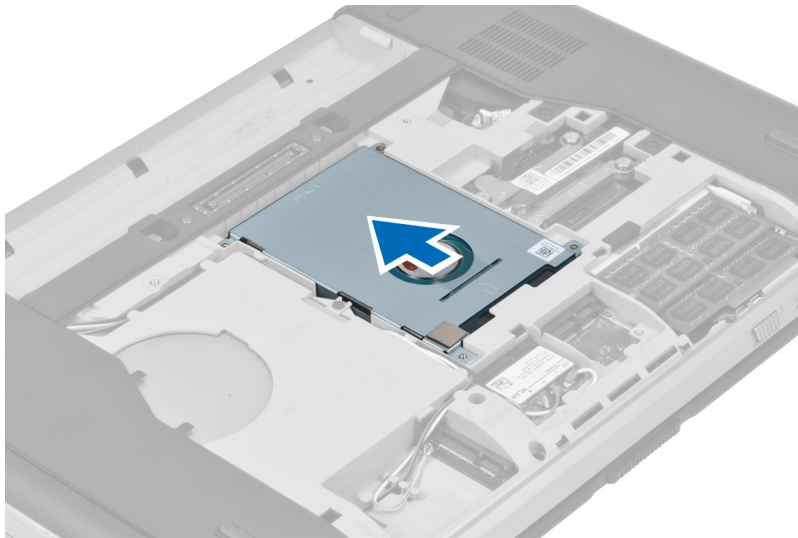
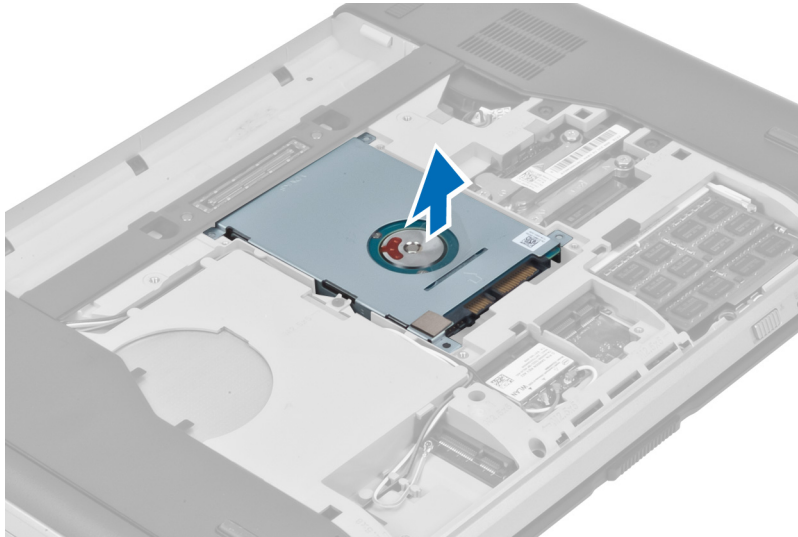
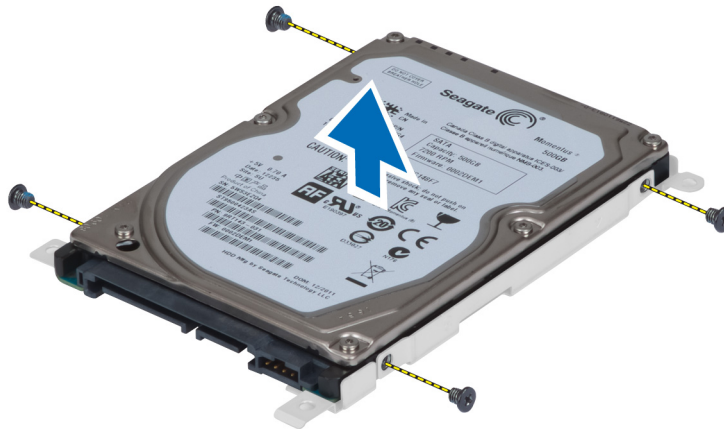
オプティカルドライブの取り付け

1. オプティカルドライブベゼルのタブをはめ込み、オプティカルドライブベゼルをオプティカルドライブに取り付けます。
2. オプティカルドライブブラケットを取り付けます。
3. オプティカルドライブブラケットを固定するネジを締めます。
4. オプティカルドライブをコンピュータに挿入します。
5. オプティカルドライブを所定の位置に固定するネジを締めます。
6. 次のコンポーネントを取り付けます。
   a) アクセスパネル
   b) バッテリー
7. 「コンピュータ内部の作業の後で」の手順に従います。

ハードドライブの取り外し

1. 「コンピュータ内部の作業を始める前に」の手順に従います。
2. 次のコンポーネントを取り外します。
   a) バッテリー

b) アクセスパネル

3. ハードドライブブラケットを固定しているネジを外します。

4. タブを持ってハードドライブブラケットを引き、ハードドライブをコネクタから外します。

5. ハードドライブをコンピュータから取り外します。

6. ハードドライブブラケットを固定しているネジを外します。

7. ハードドライブブラケットをハードドライブから取り外します。

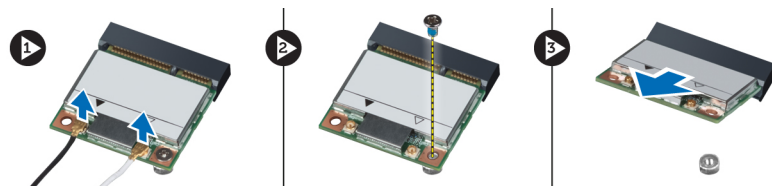
ハードドライブの取り付け

1. ハードドライブをハードドライブブラケットにはめ込みます。
2. ハードドライブブラケットを固定するネジを締めます。
3. ハードドライブをコンピュータに取り付けます。
4. ハードドライブブラケットを所定の位置に固定するネジを締めます。
5. 次のコンポーネントを取り付けます。
   a) アクセスパネル
   b) バッテリー
6. 「コンピュータ内部の作業の後で」の手順に従います。

ワイヤレス LAN（WLAN）カードの取り外し

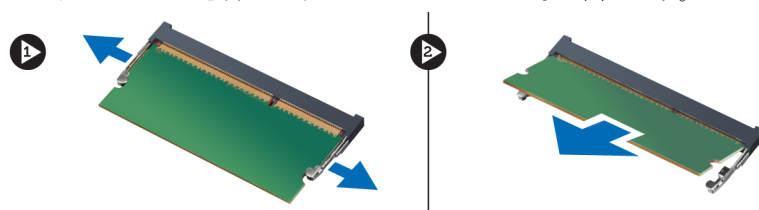
1. 「コンピュータ内部の作業を始める前に」の手順に従います。
2. 次のコンポーネントを取り外します。

a) バッテリー
b) アクセスパネル

3. アンテナケーブルを WLAN カードから外します。
4. WLAN カードをコンピュータに固定しているネジを外します。
5. WLAN カードをシステム基板上のスロットから取り外します。

ワイヤレス LAN（WLAN）カードの取り付け

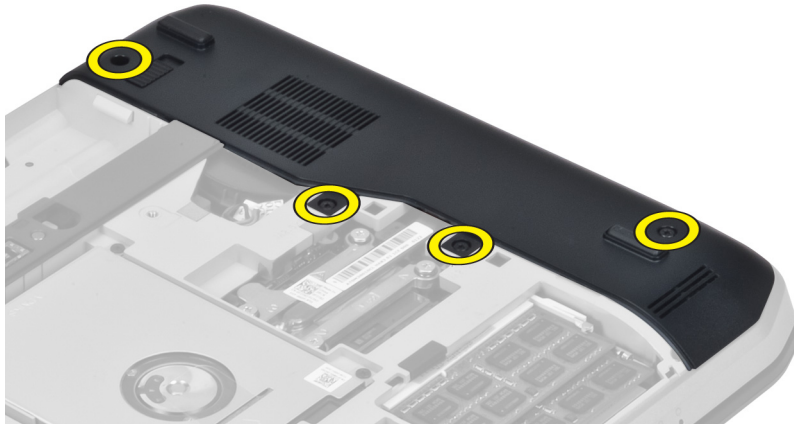
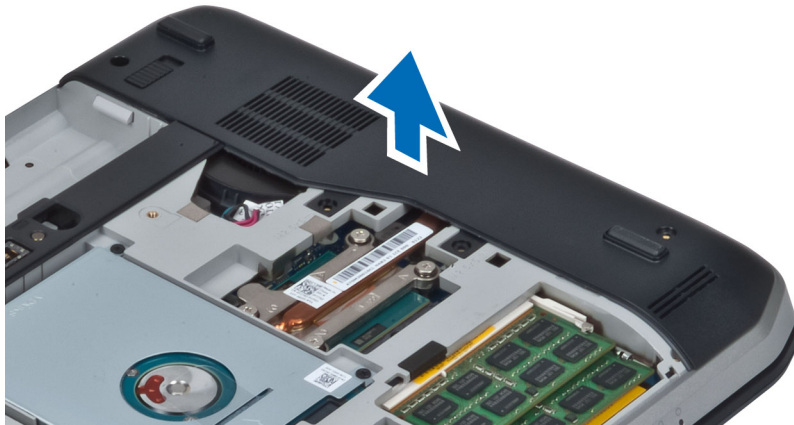
1. WLAN カードをコネクタに対して 45 度の角度で挿入します。
2. アンテナケーブルを WLAN カード上にマークされている各コネクタに接続します。
3. WLAN カードをコンピュータに固定するネジを取り付けて締めます。
4. 次のコンポーネントを取り付けます。
   a) アクセスパネル
   b) バッテリー
5. 「コンピュータ内部の作業の後で」の手順に従います。

メモリモジュールの取り外し

1. 「コンピュータ内部の作業を始める前に」の手順に従います。
2. 次のコンポーネントを取り外します。
   a) バッテリー
   b) アクセスパネル
3. メモリモジュールが持ち上がるまで、固定クリップを押し開きます。
4. メモリモジュールを持ち上げてコンピュータから取り出します。

メモリモジュールの取り付け

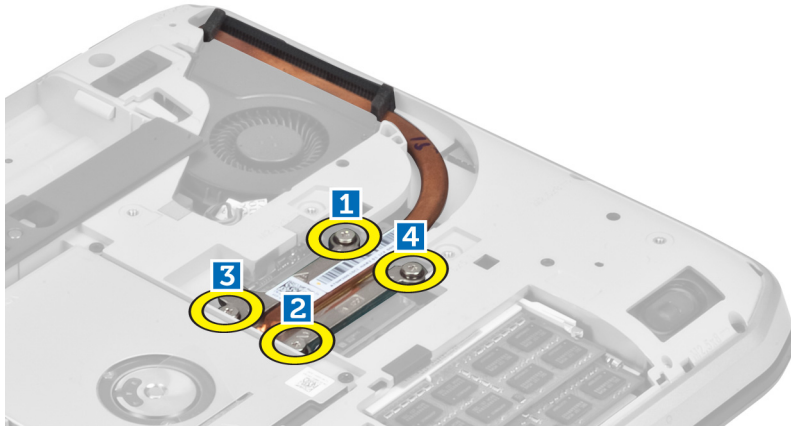
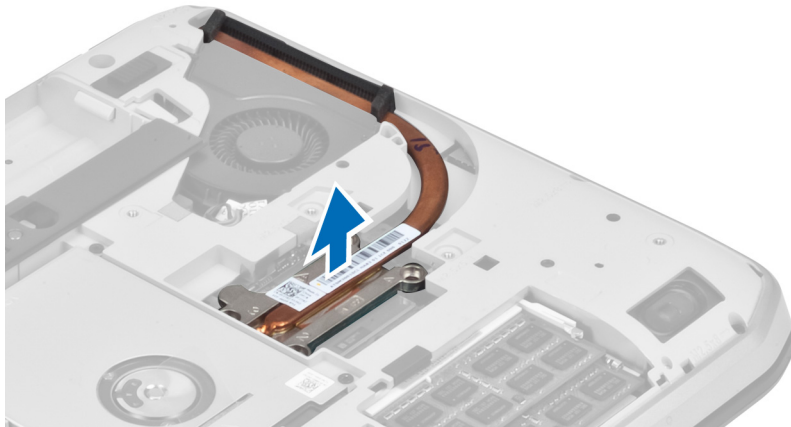
1. メモリをメモリソケットに挿入します。
2. クリップを押してメモリモジュールをシステム基板に固定します。
3. 次のコンポーネントを取り付けます。
   a) アクセスパネル
   b) バッテリー
4. 「コンピュータ内部の作業の後で」の手順に従います。

右ベースパネルの取り外し

1. 「コンピュータ内部の作業を始める前に」の手順に従います。
2. 次のコンポーネントを取り外します。
   a) バッテリー
   b) アクセスパネル
3. 右ベースパネルを固定しているネジを外します。

4. 右ベースパネルをコンピュータから取り外します。

右ベースパネルの取り付け

1. 右ベースパネルをコンピュータの上に置きます。
2. 右ベースパネルをコンピュータに固定するネジを締めます。
3. 次のコンポーネントを取り付けます。
   a) アクセスパネル
   b) バッテリー
4. 「コンピュータ内部の作業の後で」の手順に従います。

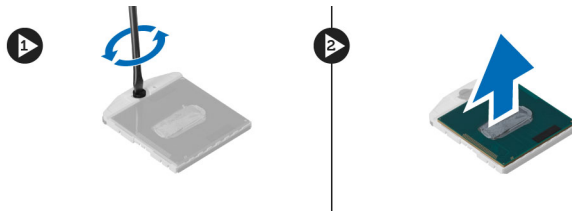
サーマルモジュールの取り外し

1. 「コンピュータ内部の作業を始める前に」の手順に従います。
2. 次のコンポーネントを取り外します。
   a) SD メモリカード
   b) バッテリー
   c) アクセスパネル
   d) 右ベースパネル
3. サーマルモジュールを固定しているネジを外します。

4. サーマルモジュールを持ち上げてコンピュータから取り出します。

サーマルモジュールの取り付け

1. サーマルモジュールを所定のコンパートメント内に置きます。
2. サーマルモジュールをコンピュータに固定するネジを締めます。
3. 次のコンポーネントを取り付けます。
   a) 右ベースパネル
   b) アクセスパネル
   c) バッテリー
   d) SD メモリカード

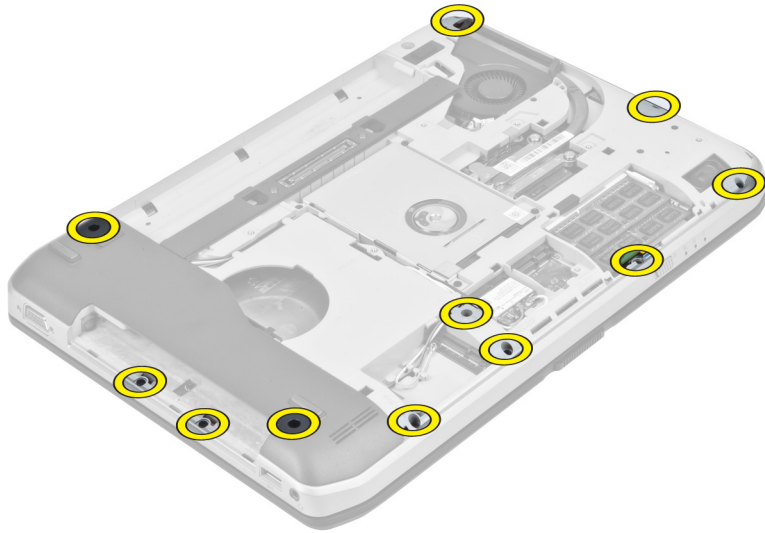
4. 「コンピュータ内部の作業の後で」の手順に従います。

プロセッサの取り外し

1. 「コンピュータ内部の作業を始める前に」の手順に従います。
2. 次のコンポーネントを取り外します。
   a) SD メモリカード
   b) バッテリー
   c) アクセスパネル
   d) 右ベースパネル
   e) サーマルモジュール
3. プロセッサカムロックを反時計方向に回してロックを解除します。プロセッサを持ち上げてコンピュータから取り出します。

プロセッサの取り付け

1. プロセッサをコンピュータのソケットに載せます。
2. プロセッサカムロックを時計方向に回してプロセッサを固定します。
3. 次のコンポーネントを取り付けます。
   a) サーマルモジュール
   b) アクセスパネル
   c) 右ベースパネル
   d) バッテリー
   e) SD メモリカード
4. 「コンピュータ内部の作業の後で」の手順に従います。

パームレストの取り外し

1. 「コンピュータ内部の作業を始める前に」の手順に従います。
2. 次のコンポーネントを取り外します。
   a) SD メモリカード
   b) バッテリー
   c) アクセスパネル
   d) キーボードトリム
   e) キーボード
   f) オプティカルドライブ
   g) 右ベースパネル
3. コンピュータ底部のネジを外します。

4. パームレストをコンピュータに固定しているネジを外します。

5. LED ボードの平フレックスケーブルを外します。

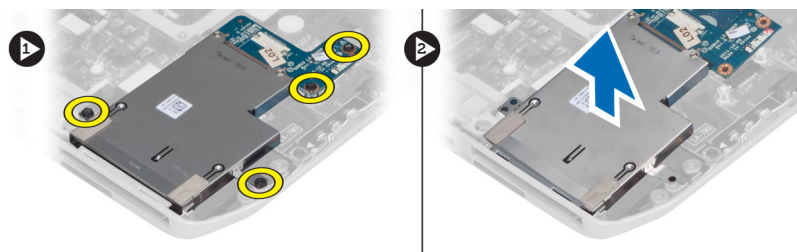
6. メディアボタンの平フレックスケーブルを外します。
7. タッチパッドの平フレックスケーブルを外します。
8. 指紋スキャナーの平フレックスケーブルを外します。
9. 電源ボタンの平フレックスケーブルを外します。
10. パームレストアセンブリの右端を持ち上げます。
11. パームレストアセンブリの左端のタブを外し、パームレストをコンピュータから取り外します。

パームレストの取り付け

1. パームレストアセンブリをコンピュータの元の位置に合わせ、そこにはめ込みます。
2. システム基板に以下のケーブルを接続します。
   a) 電源ボタンの平フレックスケーブル
   b) 指紋スキャナーの平フレックスケーブル
   c) タッチパッドの平フレックスケーブル
   d) メディアボタンの平フレックスケーブル

e) LED ボードの平フレックスケーブル
3. パームレストのネジを締めます。
4. コンピュータ底部のネジを締めます。
5. 次のコンポーネントを取り付けます。
   a) 右ベースパネル
   b) オプティカルドライブ
   c) キーボード
   d) キーボードトリム
   e) アクセスパネル
   f) バッテリー
   g) SD メモリカード
6. 「コンピュータ内部の作業の後で」の手順に従います。

ExpressCard リーダーケージの取り外し

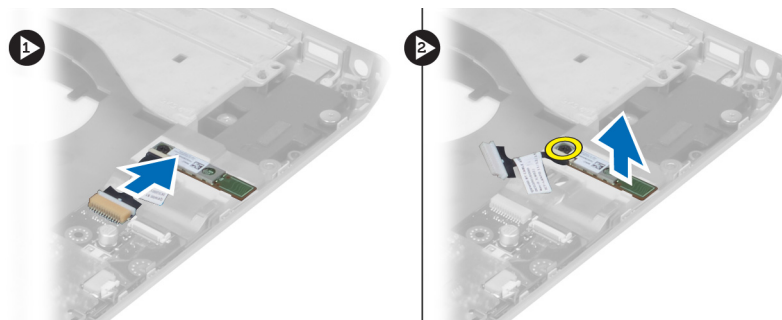
1. 「コンピュータ内部の作業を始める前に」の手順に従います。
2. 次のコンポーネントを取り外します。
   a) SD メモリカード
   b) バッテリー
   c) アクセスパネル
   d) キーボードトリム
   e) キーボード
   f) オプティカルドライブ
   g) 右ベースパネル
   h) パームレスト
3. ExpressCard リーダーケージを固定しているネジを外します。
4. ExpressCard リーダーケージをコンピュータから取り外します。

ExpressCard リーダーケージの取り付け

1. ExpressCard リーダーケージをコンピュータの元の位置に合わせ、そこにはめ込みます。
2. ExpressCard リーダーケージを固定するネジを取り付けます。
3. 次のコンポーネントを取り付けます。
   a) パームレスト
   b) 右ベースパネル
   c) オプティカルドライブ
   d) キーボード
   e) キーボードトリム
   f) アクセスパネル
   g) バッテリー

h) SD メモリカード

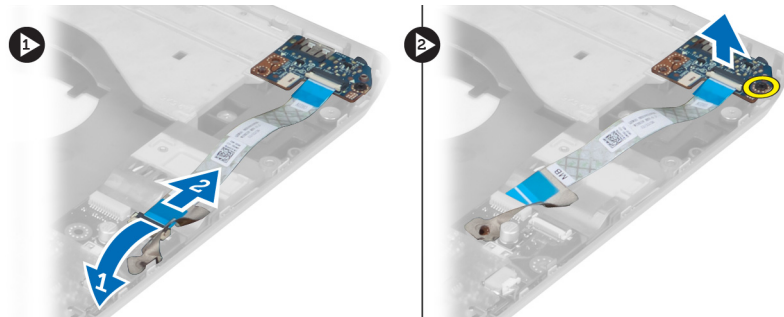
4. 「コンピュータ内部の作業の後で」の手順に従います。

Bluetooth モジュールの取り外し

1. 「コンピュータ内部の作業を始める前に」の手順に従います。
2. 次のコンポーネントを取り外します。
   a) SD メモリカード
   b) バッテリー
   c) アクセスパネル
   d) キーボードトリム
   e) キーボード
   f) オプティカルドライブ
   g) 右ベースパネル
   h) パームレスト
3. Bluetooth ケーブルをシステム基板から外します。
4. Bluetooth モジュールを固定しているネジを外します。
5. Bluetooth モジュールをコンピュータから取り外します。
6. Bluetooth モジュールから Bluetooth ケーブルを外します。

Bluetooth モジュールの取り付け

1. Bluetooth モジュールに Bluetooth ケーブルを接続します。
2. Bluetooth モジュールをコンピュータの所定のコンパートメント内に置きます。
3. Bluetooth モジュールをコンピュータに固定するネジを取り付けます。
4. Bluetooth ケーブルをシステム基板に接続します。
5. 次のコンポーネントを取り付けます。
   a) パームレスト
   b) 右ベースパネル
   c) オプティカルドライブ
   d) キーボード
   e) キーボードトリム
   f) アクセスパネル
   g) バッテリー
   h) SD メモリカード
6. 「コンピュータ内部の作業の後で」の手順に従います。

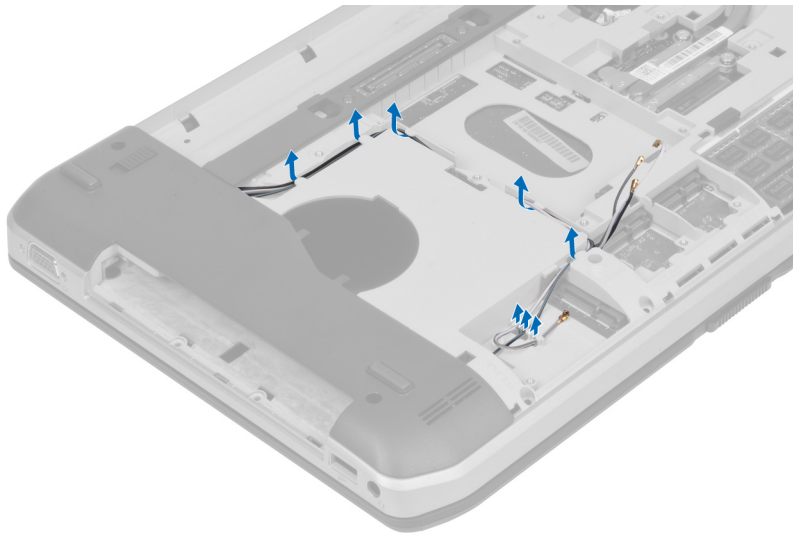
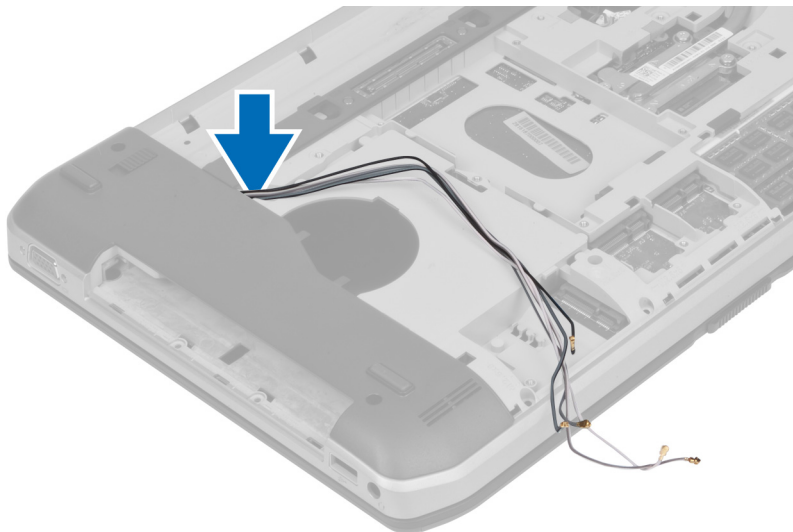
オーディオボードの取り外し

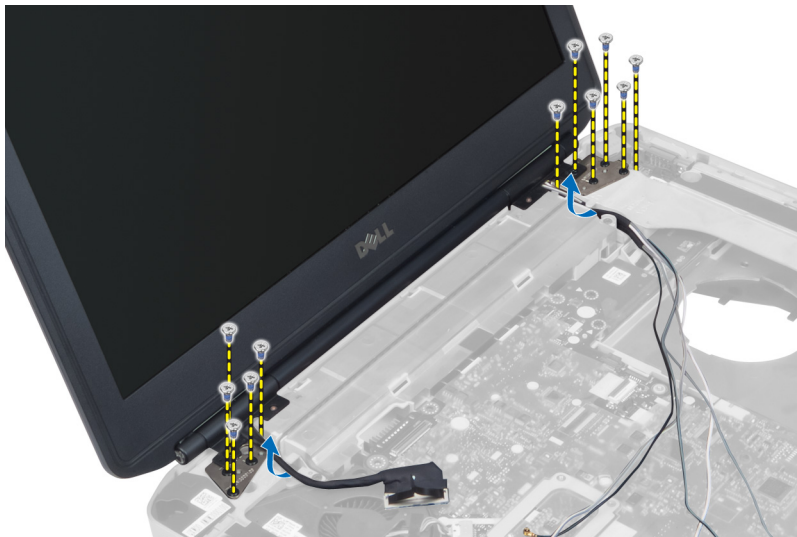
1. 「コンピュータ内部の作業を始める前に」の手順に従います。
2. 次のコンポーネントを取り外します。
   a) SD メモリカード
   b) バッテリー
   c) アクセスパネル
   d) キーボードトリム
   e) キーボード
   f) オプティカルドライブ
   g) 右ベースパネル
   h) パームレスト
   i) Bluetooth モジュール
3. オーディオボードの平フレックスケーブルをシステム基板から外します。
4. オーディオボードを固定しているネジを外します。

5. オーディオボードをコンピュータから取り外します。

オーディオボードの取り付け

1. オーディオボードをコンピュータ内に置きます。
2. ネジを締めてオーディオボードをコンピュータに固定します。
3. オーディオボードケーブルをシステム基板に接続します。
4. 次のコンポーネントを取り付けます。
   a) Bluetooth モジュール
   b) パームレスト
   c) 右ベースパネル
   d) オプティカルドライブ
   e) キーボード
   f) キーボードトリム
   g) アクセスパネル
   h) バッテリー
   i) ExpressCard
   j) SD メモリカード
5. 「コンピュータ内部の作業の後で」の手順に従います。

ディスプレイアセンブリの取り外し

1. 「コンピュータ内部の作業を始める前に」の手順に従います。
2. 次のコンポーネントを取り外します。
   a) SD メモリカード
   b) バッテリー
   c) アクセスパネル
   d) キーボードトリム
   e) キーボード
   f) オプティカルドライブ
   g) ハードドライブ
   h) 右ベースパネル
   i) パームレスト
3. 配線チャネルからすべてのアンテナを外します。

4. 低電圧差動信号（LVDS）ケーブルを外します。

5. アンテナを開口部からコンピュータの上部まで通します。

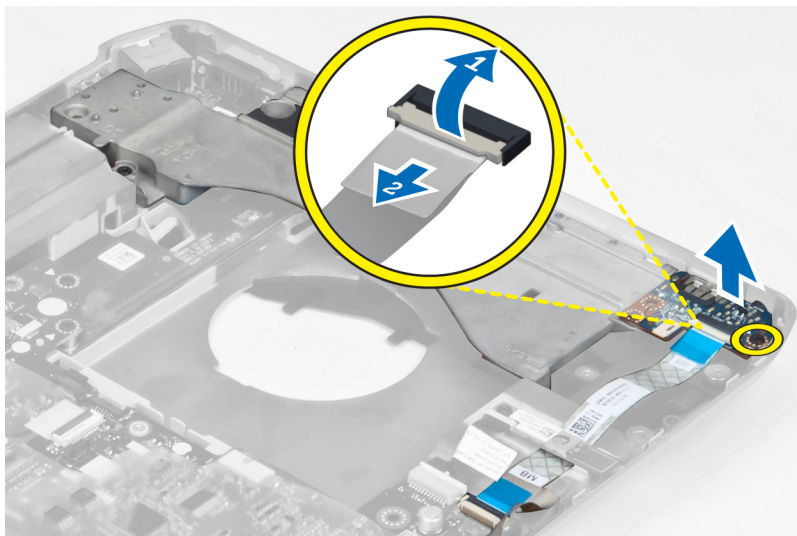
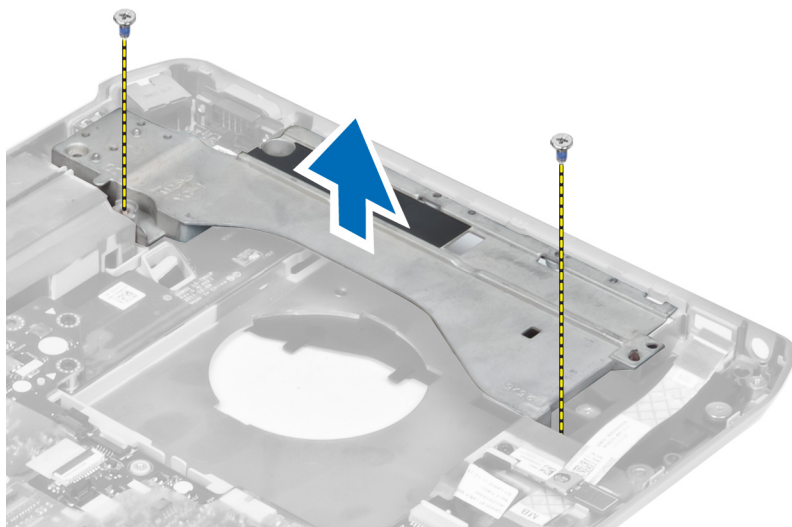
6. ディスプレイアセンブリを固定しているネジを外します。

7. ディスプレイアセンブリをコンピュータから取り外します。

ディスプレイアセンブリの取り付け

1. ディスプレイアセンブリを所定の位置に固定するネジを取り付けます。
2. 低電圧差動信号（LVDS）ケーブルとワイヤレスアンテナケーブルをシャーシの穴に通します。
3. LVDS ケーブルを所定のコンパートメントに配線し、コネクタをシステム基板に接続します。
4. アンテナケーブルを対応する各コネクタに接続します。
5. 次のコンポーネントを取り付けます。
   a) パームレスト
   b) 右ベースパネル
   c) ハードドライブ
   d) オプティカルドライブ

e) キーボード
f) キーボードトリム
g) アクセスパネル
h) バッテリー
i) SD メモリカード
6. 「コンピュータ内部の作業の後で」の手順に従います。

右サポートフレームの取り外し

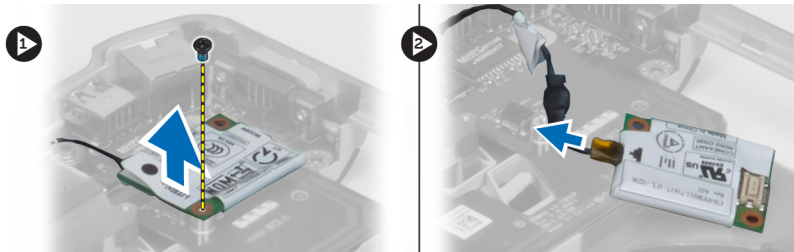
1. 「コンピュータ内部の作業を始める前に」の手順に従います。
2. 次のコンポーネントを取り外します。
   a) SD メモリカード
   b) ExpressCard
   c) バッテリー
   d) アクセスパネル
   e) キーボードトリム
   f) キーボード
   g) オプティカルドライブ
   h) ハードドライブ
   i) WLAN カード
   j) 右ベースパネル
   k) サーマルモジュール
   l) パームレスト
   m) ディスプレイアセンブリ
3. 右サポートフレームの底部にある平フレックスケーブルを外します。

4. 右サポートフレームをコンピュータに固定しているネジを外します。
5. 右サポートフレームを持ち上げてコンピュータから取り出します。

右サポートフレームの取り付け

1. 右サポートフレームをコンピュータの上に置きます。
2. 右サポートフレームをコンピュータに固定するネジを締めます。
3. 右サポートフレームの底部に平フレックスケーブルを接続します。
4. 次のコンポーネントを取り付けます。
   a) ディスプレイアセンブリ
   b) パームレスト
   c) サーマルモジュール
   d) 右ベースパネル
   e) WLAN カード
   f) ハードドライブ
   g) オプティカルドライブ
   h) キーボード
   i) キーボードトリム
   j) アクセスパネル
   k) バッテリー
   l) ExpressCard
   m) SD メモリカード
5. 「コンピュータ内部の作業の後で」の手順に従います。

モデムカードの取り外し

1. 「コンピュータ内部の作業を始める前に」の手順に従います。
2. 次のコンポーネントを取り外します。
   a) SD メモリカード
   b) ExpressCard
   c) バッテリー
   d) アクセスパネル
   e) キーボードトリム
   f) キーボード

g) オプティカルドライブ
h) ハードドライブ
i) 右ベースパネル
j) サーマルモジュール
k) パームレスト
l) ExpressCard リーダーケージ
m) ディスプレイアセンブリ
n) 右サポートフレーム

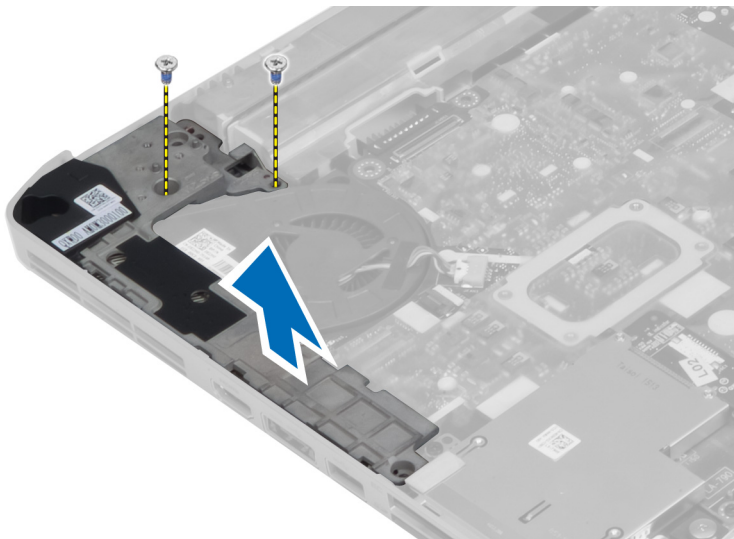
3. モデムカードをコンピュータに固定しているネジを外します。
4. モデムカードを持ち上げて、カード後部のコネクタから外します。
5. ネットワークコネクタケーブルをモデムカードから外します。
6. モデムカードを持ち上げてコンピュータから取り出します。

モデムカードの取り付け

1. モデムカードをコンピュータ内の入力 / 出力（I/O）ボードに載せます。
2. ネットワークコネクタケーブルをモデムカードに接続します。
3. モデムカードをコンピュータの背面にあるコネクタに差し込みます。
4. ネジを締めてモデムカードをコンピュータに固定します。
5. 次のコンポーネントを取り付けます。
   a) 右サポートフレーム
   b) ディスプレイアセンブリ
   c) ExpressCard リーダーケージ
   d) パームレスト
   e) サーマルモジュール
   f) 右ベースパネル
   g) ハードドライブ
   h) オプティカルドライブ
   i) キーボード
   j) キーボードトリム
   k) アクセスパネル
   l) バッテリー
   m) ExpressCard
   n) SD メモリカード
6. 「コンピュータ内部の作業の後で」の手順に従います。

左サポートフレームの取り外し

1. 「コンピュータ内部の作業を始める前に」の手順に従います。
2. 次のコンポーネントを取り外します。

a) SD メモリカード
b) ExpressCard
c) バッテリー
d) アクセスパネル
e) キーボードトリム
f) キーボード
g) オプティカルドライブ
h) ハードドライブ
i) WLAN カード
j) 右ベースパネル
k) サーマルモジュール
l) パームレスト
m) ディスプレイアセンブリ

3. 左サポートフレームをコンピュータに固定しているネジを外します。
4. 左サポートフレームを持ち上げてコンピュータから取り出します。

左サポートフレームの取り付け

1. 左サポートフレームをコンピュータの上に置きます。
2. 左サポートフレームをコンピュータに固定するネジを締めます。
3. 次のコンポーネントを取り付けます。
   a) ディスプレイアセンブリ
   b) パームレスト
   c) サーマルモジュール
   d) 右ベースパネル
   e) WLAN カード
   f) ハードドライブ
   g) オプティカルドライブ
   h) キーボード
   i) キーボードトリム
   j) アクセスパネル
   k) バッテリー

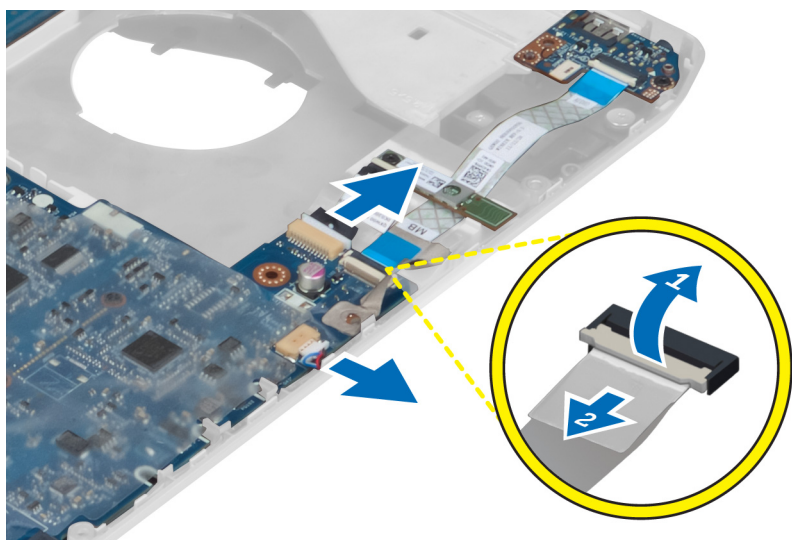
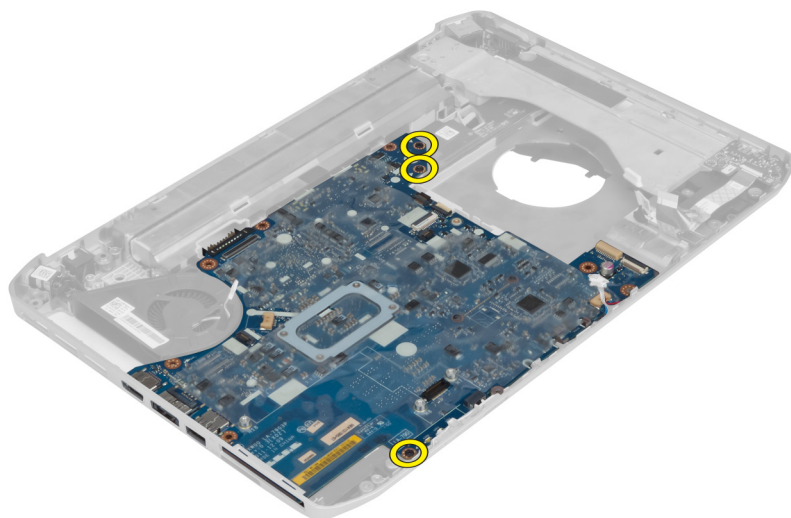
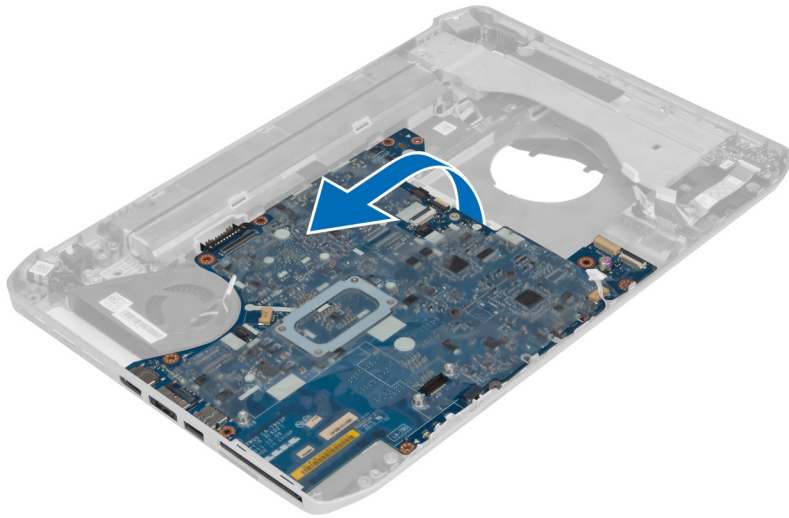
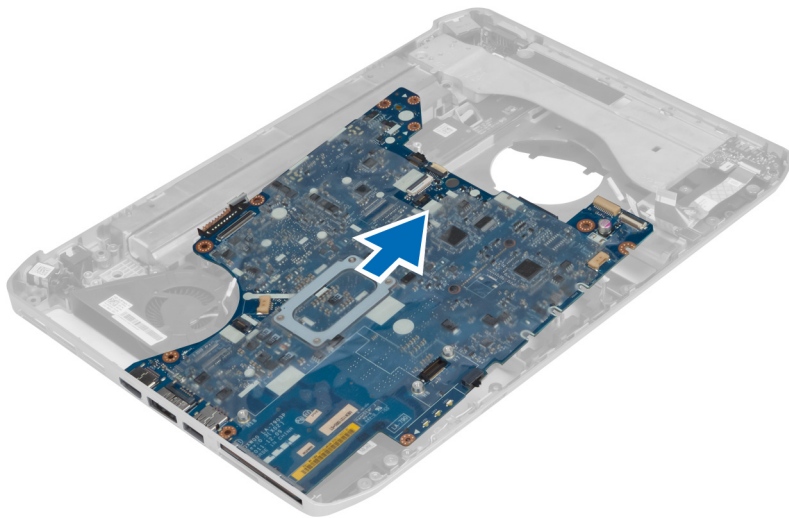
l) ExpressCard
m) SD メモリカード

4. 「コンピュータ内部の作業の後で」の手順に従います。

システム基板の取り外し

1. 「コンピュータ内部の作業を始める前に」の手順に従います。
2. 次のコンポーネントを取り外します。
   a) バッテリー
   b) アクセスパネル
   c) キーボードトリム
   d) キーボード
   e) オプティカルドライブ
   f) ハードドライブ
   g) WLAN カード
   h) 右ベースパネル
   i) サーマルモジュール
   j) パームレスト
   k) ExpressCard リーダーケージ
   l) ディスプレイアセンブリ
   m) 左サポートフレーム
3. 電源コネクタケーブルを外します。

4. システムファンケーブルをシステム基板から外します。

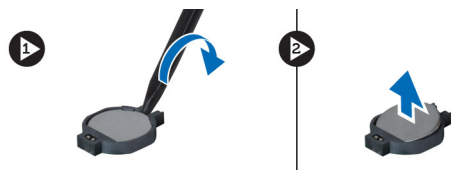
5. スピーカーケーブルをシステム基板から外します。
6. オーディオボードの平フレックスケーブルを外します。
7. Bluetooth ケーブルを外します。

8. システム基板を固定しているネジを外します。

9. システム基板アセンブリの右端を 45 度の角度に持ち上げます。

10. システム基板を左側のポートコネクタから外し、システム基板を取り外します。

システム基板の取り付け

1. システム基板をコンピュータの元の位置に合わせます。
2. システム基板をコンピュータに固定するネジを取り付けて締めます。
3. 以下のケーブルを配線しシステム基板に接続します。
   a) オーディオボードの平フレックスケーブル
   b) Bluetooth ケーブル
   c) スピーカーケーブル
   d) 電源コネクタケーブル
   e) サーマルファンケーブル
4. 次のコンポーネントを取り付けます。
   a) 左サポートフレーム
   b) ディスプレイアセンブリ
   c) ExpressCard リーダーケージ

d) パームレスト
e) サーマルモジュール
f) 右ベースパネル
g) ハードドライブ
h) オプティカルドライブ
i) キーボード
j) キーボードトリム
k) アクセスパネル
l) バッテリー
m) SD メモリカード

5. 「コンピュータ内部の作業の後で」の手順に従います。

コイン型バッテリーの取り外し

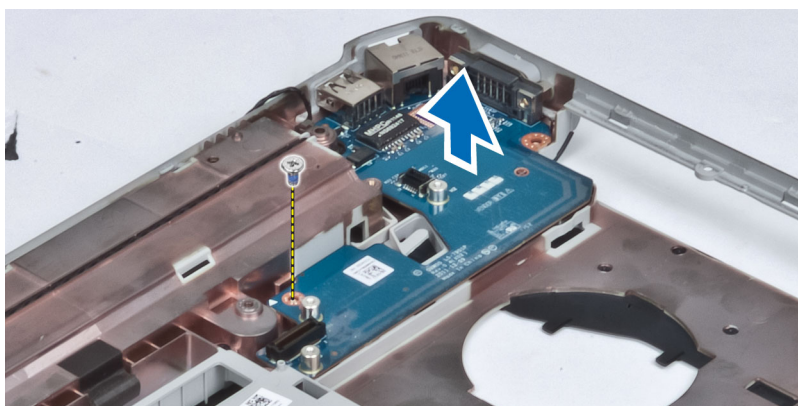
1. 「コンピュータ内部の作業を始める前に」の手順に従います。
2. 次のコンポーネントを取り外します。
   a) SD メモリカード
   b) ExpressCard
   c) バッテリー
   d) アクセスパネル
   e) キーボードトリム
   f) オプティカルドライブ
   g) ハードドライブ
   h) WLAN カード
   i) 右ベースパネル
   j) サーマルモジュール
   k) パームレスト
   l) ExpressCard リーダーケージ
   m) ディスプレイアセンブリ
   n) 左サポートフレーム
   o) システム基板
3. コイン型バッテリーをシステム基板から外します。
4. コイン型バッテリーを粘着シールからはがして取り外します。

コイン型バッテリーの取り付け

1. 粘着剤が付いている側を下向きにしてコイン型バッテリーをシステム基板に載せます。
2. コイン型バッテリーケーブルをシステム基板に接続します。
3. 次のコンポーネントを取り付けます。
   a) システム基板
   b) 左サポートフレーム
   c) ディスプレイアセンブリ
   d) ExpressCard リーダーケージ

e) パームレスト
f) サーマルモジュール
g) 右ベースパネル
h) WLAN カード
i) ハードドライブ
j) オプティカルドライブ
k) キーボード
l) キーボードトリム
m) アクセスパネル
n) バッテリー
o) ExpressCard
p) SD メモリカード

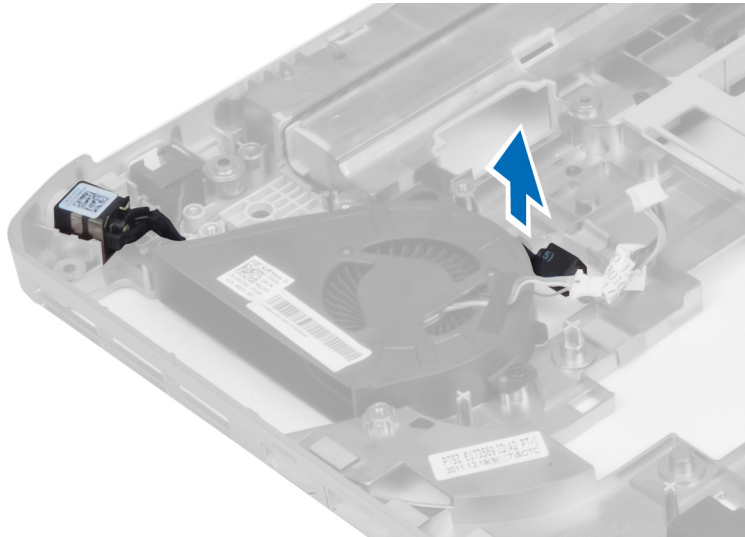
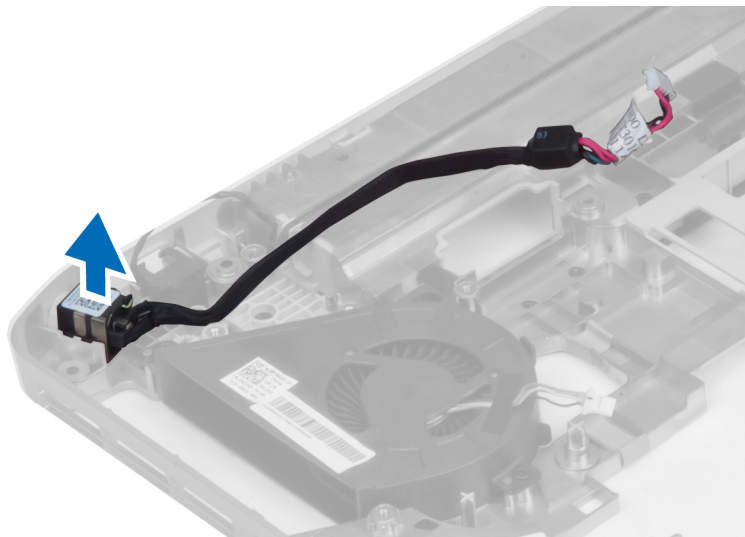
4. 「コンピュータ内部の作業の後で」の手順に従います。

入力 / 出力（I/O）ボードの取り外し

1. 「コンピュータ内部の作業を始める前に」の手順に従います。
2. 次のコンポーネントを取り外します。
   a) SD メモリカード
   b) ExpressCard
   c) バッテリー
   d) アクセスパネル
   e) キーボードトリム
   f) キーボード
   g) オプティカルドライブ
   h) ハードドライブ
   i) WLAN カード
   j) 右ベースパネル
   k) サーマルモジュール
   l) パームレスト
   m) ExpressCard リーダーケージ
   n) ディスプレイアセンブリ
   o) 右サポートフレーム
   p) 左サポートフレーム
   q) システム基板
3. 入力 / 出力（I/O）ボードをコンピュータに固定しているネジを外します。
4. 入力 / 出力（I/O）ボードを持ち上げてコンピュータから取り出します。

入力 / 出力（I/O）ボードの取り付け

1. 入力 / 出力（I/O）ボードをコンピュータ内に置きます。
2. 入力 / 出力（I/O）ボードをコンピュータに固定するネジを締めます。
3. 次のコンポーネントを取り付けます。
    a) システム基板
    b) 左サポートフレーム
    c) 右サポートフレーム
    d) ディスプレイアセンブリ
    e) ExpressCard リーダーケージ
    f) パームレスト
    g) サーマルモジュール
    h) 右ベースパネル
    i) WLAN カード
    j) ハードドライブ
    k) オプティカルドライブ
    l) キーボード
    m) キーボードトリム
    n) アクセスパネル
    o) バッテリー
    p) ExpressCard
    q) SD メモリカード
4. 「コンピュータ内部の作業の後で」の手順に従います。

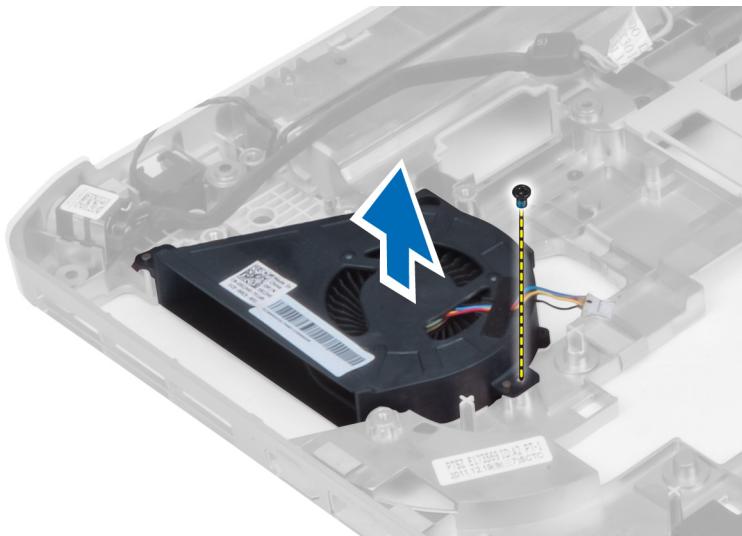
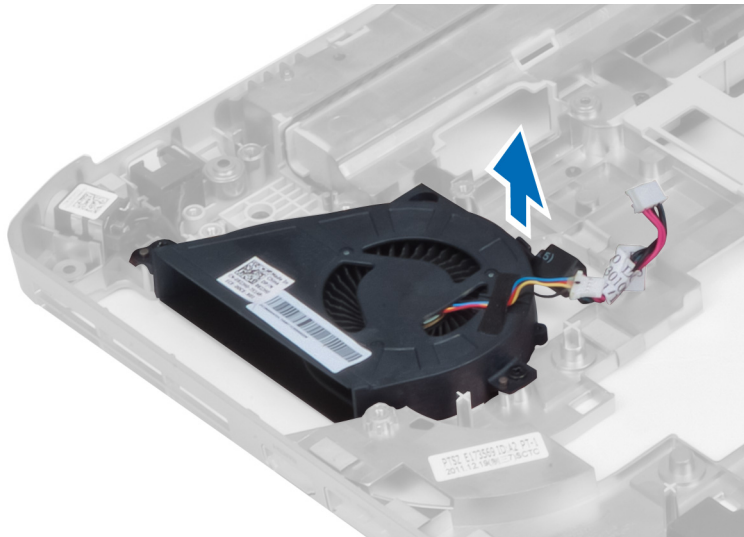
電源コネクタの取り外し

1. 「コンピュータ内部の作業を始める前に」の手順に従います。
2. 次のコンポーネントを取り外します。
    a) SD メモリカード
    b) ExpressCard
    c) バッテリー
    d) アクセスパネル
    e) キーボードトリム
    f) キーボード
    g) オプティカルドライブ
    h) ハードドライブ
    i) WLAN カード
    j) 右ベースパネル
    k) サーマルモジュール
    l) パームレスト
    m) ExpressCard リーダーケージ
    n) ディスプレイアセンブリ
    o) 左サポートブラケット
    p) システム基板
3. 電源コネクタケーブルを配線チャネルから外します。

4. 電源コネクタを外します。

電源コネクタの取り付け

1. コンピュータに電源コネクタを取り付けます。
2. 電源コネクタを配線チャネルに通します。
3. 次のコンポーネントを取り付けます。
   a) システム基板
   b) 左サポートブラケット
   c) ディスプレイアセンブリ
   d) ExpressCard リーダーケージ
   e) パームレスト
   f) サーマルモジュール
   g) 右ベースパネル
   h) WLAN カード
   i) ハードドライブ

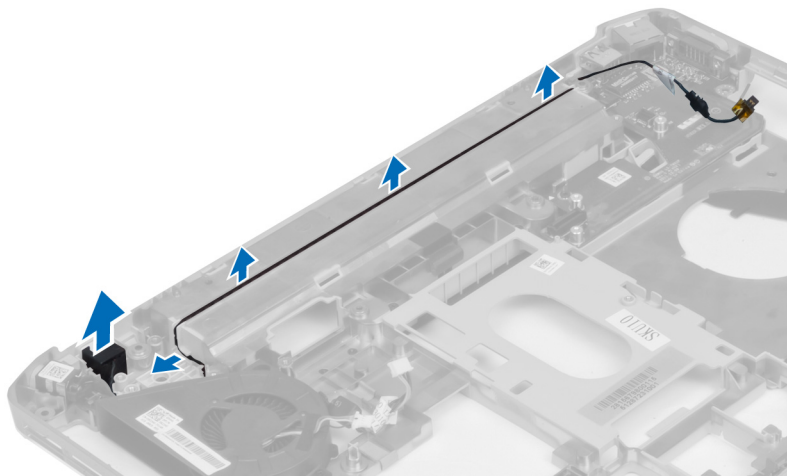
j) オプティカルドライブ
k) キーボード
l) キーボードトリム
m) アクセスパネル
n) バッテリー
o) ExpressCard
p) SD メモリカード
4. 「コンピュータ内部の作業の後で」の手順に従います。

システムファンの取り外し

1. 「コンピュータ内部の作業を始める前に」の手順に従います。
2. 次のコンポーネントを取り外します。
a) SD メモリカード
b) ExpressCard
c) バッテリー
d) アクセスパネル
e) キーボードトリム
f) キーボード
g) オプティカルドライブ
h) ハードドライブ
i) WLAN カード
j) 右ベースパネル
k) サーマルモジュール
l) パームレスト
m) ExpressCard リーダーケージ
n) ディスプレイアセンブリ
o) 右サポートフレーム
p) 左サポートフレーム
q) モデムカード
r) システム基板
s) 電源コネクタ
t) ネットワークコネクタ
3. システムファンをコンピュータに固定しているネジを外します。

4. システムファンを持ち上げてコンピュータから取り出します。

システムファンの取り付け

1. システムファンをコンピュータ内に置きます。
2. ファンをコンピュータに固定するネジを締めます。
3. 次のコンポーネントを取り付けます。
   a) ネットワークコネクタ
   b) 電源コネクタ
   c) システム基板
   d) モデムカード
   e) 左サポートフレーム
   f) 右サポートフレーム
   g) ディスプレイアセンブリ
   h) ExpressCard リーダーケージ
   i) パームレスト
   j) サーマルモジュール
   k) 右ベースパネル
   l) WLAN カード
   m) ハードドライブ
   n) オプティカルドライブ
   o) キーボード
   p) キーボードトリム
   q) アクセスパネル
   r) バッテリー
   s) ExpressCard
   t) SD メモリカード
4. 「コンピュータ内部の作業の後で」の手順に従います。

ネットワークコネクタの取り外し

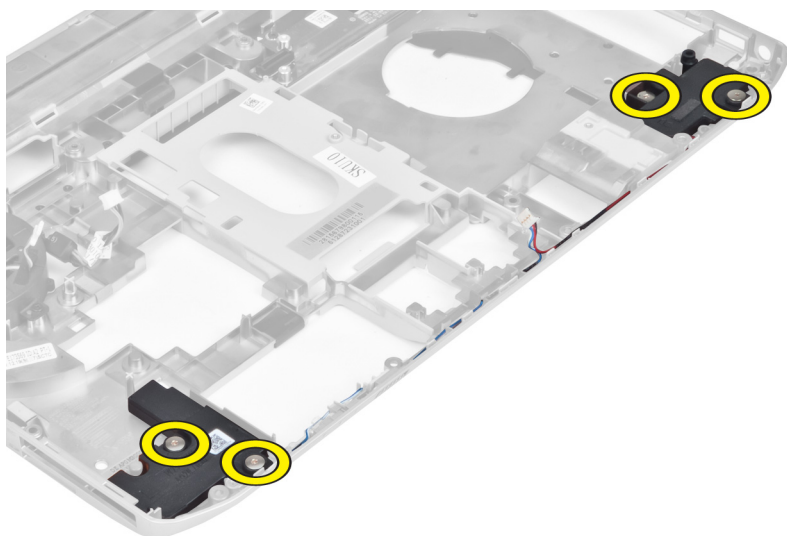
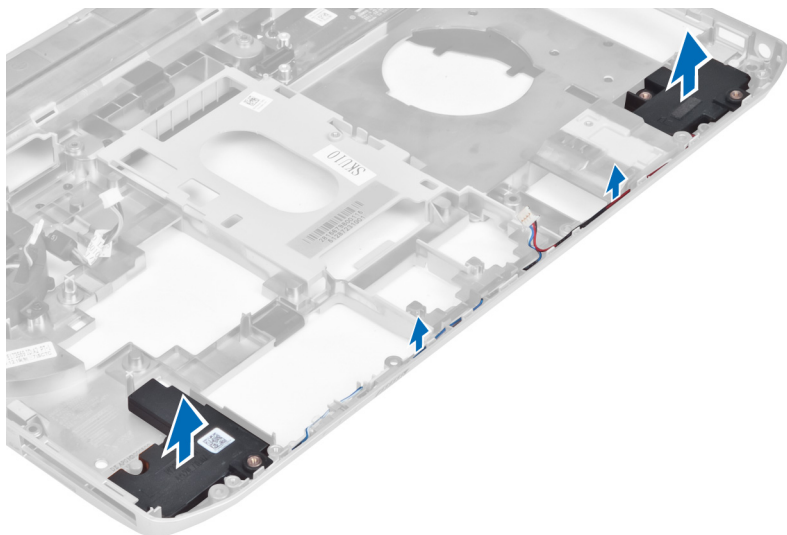
1. 「コンピュータ内部の作業を始める前に」の手順に従います。
2. 次のコンポーネントを取り外します。
   a) SD メモリカード
   b) ExpressCard
   c) バッテリー
   d) アクセスパネル
   e) キーボードトリム
   f) キーボード
   g) オプティカルドライブ
   h) ハードドライブ
   i) WLAN カード
   j) 右ベースパネル
   k) サーマルモジュール
   l) パームレスト
   m) ExpressCard リーダーケージ
   n) ディスプレイアセンブリ
   o) 右サポートフレーム
   p) 左サポートフレーム
   q) モデムカード
   r) システム基板
3. ネットワークコネクタケーブルを配線チャネルから外します。
4. ネットワークコネクタを外します。

ネットワークコネクタの取り付け

1. コンピュータにネットワークコネクタを取り付けます。
2. ネットワークコネクタケーブルを配線チャネルに通します。
3. 次のコンポーネントを取り付けます。
   a) システム基板
   b) モデムカード
   c) 左サポートフレーム

d) 右サポートフレーム
e) ディスプレイアセンブリ
f) ExpressCard リーダーケージ
g) パームレスト
h) サーマルモジュール
i) 右ベースパネル
j) WLAN カード
k) ハードドライブ
l) オプティカルドライブ
m) キーボード
n) キーボードトリム
o) アクセスパネル
p) バッテリー
q) ExpressCard
r) SD メモリカード

4. 「コンピュータ内部の作業の後で」の手順に従います。

スピーカーの取り外し

1. 「コンピュータ内部の作業を始める前に」の手順に従います。
2. 次のコンポーネントを取り外します。
   a) SD メモリカード
   b) ExpressCard
   c) バッテリー
   d) アクセスパネル
   e) キーボードトリム
   f) キーボード
   g) オプティカルドライブ
   h) ハードドライブ
   i) WLAN カード
   j) 右ベースパネル
   k) サーマルモジュール
   l) パームレスト
   m) ExpressCard リーダーケージ
   n) Bluetooth モジュール
   o) オーディオボード
   p) LCD アセンブリ
   q) 左サポートフレーム
   r) システム基板
3. ネジを外してスピーカーを外します。

4. スピーカーケーブルを配線チャネルから外します。
5. スピーカーを持ち上げてコンピュータから取り外します。

スピーカーの取り付け

1. スピーカーをコンピュータ内に置きます。
2. ネジを締めてスピーカーをコンピュータに固定します。
3. スピーカーケーブルを接続し、配線チャネル内に固定します。
4. 次のコンポーネントを取り付けます。
   a) システム基板
   b) 左サポートフレーム
   c) ディスプレイアセンブリ
   d) オーディオボード
   e) Bluetooth モジュール
   f) ExpressCard リーダーケージ

g) パームレスト
h) サーマルモジュール
i) 右ベースパネル
j) WLAN カード
k) ハードドライブ
l) オプティカルドライブ
m) キーボード
n) キーボードトリム
o) アクセスパネル
p) バッテリー
q) ExpressCard
r) SD メモリカード

5. 「コンピュータ内部の作業の後で」の手順に従います。

仕様

仕様

メモ: 提供される内容は地域により異なる場合があります。お使いのコンピュータの構成の詳細については、[スタート] をクリックしてください。（スタートアイコン） → **ヘルプとサポート** の順にクリックし、お使いのコンピュータに関する情報を表示するオプションを選択します。

表 1. システム情報

機能	仕様
チップセット	Intel HM77/QM77 Express チップセット
DRAM バス幅	64 ビット
フラッシュ EPROM	SPI 32 M ビット
PCIe Gen1 バス	100 MHz
外付けバスの周波数	DMI（5GT/s）

表 2. プロセッサ

機能	仕様
タイプ	• Intel Celeron • Intel Core i3 シリーズ • Intel Core i5 シリーズ • Intel Core i7 シリーズ
L3 キャッシュ	最大 8MB

表 3. メモリ

機能	仕様
メモリコネクタ	SoDIMM スロット 2 個
メモリ容量	2 GB、4 GB、または 8 GB
メモリのタイプ	DDR3 SDRAM 1600
最小メモリ	2 GB
最大搭載メモリ	8 GB

表 4. オーディオ

機能	仕様
タイプ	4 チャネルハイデフィニッションオーディオ
コントローラ	IDT92HD93

機能	仕様
ステレオ変換	24 ビット（デジタル変換、アナログ変換）
インタフェース：	
内蔵	ハイデフィニッションオーディオ
外付け	マイク入力 / ステレオヘッドフォン / 外付けスピーカーコネクタ
スピーカー	2 個
内蔵スピーカーアンプ	各チャネル 1W（RMS）
ボリュームコントロール	キーボードファンクションキー、プログラムメニュー

表 5. ビデオ

機能	仕様
タイプ	システム基板内蔵
コントローラ	Intel HD グラフィックス

表 6. 通信

機能	仕様
ネットワークアダプタ	10/100/1000 Mb/s イーサネット（RJ-45）
ワイヤレス	内蔵ワイヤレス LAN（WLAN）およびワイヤレス広域エリアネットワーク（WWAN）

表 7. ポートとコネクタ

機能	仕様
オーディオ（オプション）	マイク / ステレオヘッドフォン / スピーカーコネクタ 1 個
ビデオ	• 15 ピン VGA コネクタ 1 個 • 19 ピン HDMI コネクタ
ネットワークアダプタ	RJ-45 コネクタ 1 個
USB 2.0	• 4 ピン USB 2.0 対応コネクタ 2 個
USB 3.0	• USB 3.0 対応コネクタ 1 個 • eSATA/USB 3.0 対応コネクタ 1 個
メモリカードリーダー	8-in-1 メモリカードリーダー 1 枚
ドッキングポート	1 個
加入者識別モジュール（SIM）ポート	1 個

表 8. ディスプレイ

機能	仕様
タイプ	
Latitude E5430	• HD（1366x768）、WLED • HD+（1600 x 900）
Latitude E5530	• HD（1366x768）、WLED • FHD（1920 x 1080）
サイズ	
Latitude E5430	14.0 インチ
Latitude E5530	15.6 インチ
寸法：	
Latitude E5430:	
縦幅	192.5 mm（7.57 インチ）
横幅	324 mm（12.75 インチ）
対角線	355.60 mm（14.00 インチ）
有効領域（X/Y）	309.40 mm x 173.95 mm
最大解像度	• 1366 x 768 ピクセル • 1600 x 900 ピクセル
最大輝度	200 ニット
Latitude E5530:	
縦幅	210 mm（8.26 インチ）
横幅	360 mm（14.17 インチ）
対角線	394.24 mm（15.60 インチ）
有効領域（X/Y）	344.23 mm x 193.54 mm
最大解像度	• 1366 x 768 ピクセル • 1920 x 1080 ピクセル
最大輝度	HD が 220 ニット、FHD が 300 ニット
動作角度	0°（閉じた状態）～ 135°
リフレッシュレート	60 Hz
最小視角：	
水平方向	• HD が +/- 40° • FHD が +/- 60°
垂直方向	• HD が +10°/-30°

機能	仕様
	• FHD が +/-50°
ピクセルピッチ：	
Latitude E5430	0.2265 mm x 0.2265 mm
Latitude E5530	• HD が 0.2520 mm x 0.2520 mm • FHD が 0.1790 x 0.1790

表 9. キーボード

機能	仕様
キーの数	米国：86 キー、イギリス：87 キー、ブラジル：87 キー、日本：90 キー
レイアウト	QWERTY / AZERTY / 漢字

表 10. タッチパッド

機能	仕様
動作領域：	
X 軸	80.00 mm
Y 軸	45.00 mm

表 11. バッテリー

機能	仕様
タイプ	4 セル、6 セル、または 9 セル「スマート」リチウムイオン
寸法：	
縦幅	
4 セル、6 セル、および 9 セル	20.00 mm（0.79 インチ）
横幅	
4 セルおよび 6 セル	208.00 mm（8.18 インチ）
9 セル	214.00 mm（8.43 インチ）
奥行き	
4 セルおよび 6 セル	48.08 mm（1.89 インチ）
9 セル	71.79 mm（2.83 インチ）
重量	
4 セル	240.00 g（0.53 ポンド）
6 セル	344.73 g（0.76 ポンド）
9 セル	508.20 g（1.12 ポンド）

機能	仕様
電圧	
4 セル	14.8 VDC
6 セルおよび 9 セル	11.1 VDC
温度範囲：	
動作時	0 ～ 50 °C（32 ～ 122 °F）
非動作時	–40 ～ 85 °C（–40 ～ 185 °F） メモ: バッテリーパックは、100 パーセント充電の状態で上記の保管温度に対応します。 メモ: また、パフォーマンスの低下を招くことなく、–20 ～ 60 °C の保管温度に対応します。
コイン型バッテリー	3 V CR2032 コイン型リチウムバッテリー

表 12. AC アダプタ

機能	Latitude E5430	Latitude E5530
タイプ	65 W	90 W アダプタ
入力電圧	100 ～ 240 VAC	100 ～ 240 VAC
入力電流（最大）	1.7 A	1.5 A
入力周波数	50 ～ 60 Hz	50 ～ 60 Hz
出力電力	65 W	90 W
出力電流	3.34 A（連続稼働の場合）	4.62 A（連続稼働の場合）
定格出力電圧	19.5 +/– 1.0 VDC	19.5 +/– 1.0 VDC
温度範囲：		
動作時	0 ～ 40 °C（32 ～ 104 °F）	0 ～ 40 °C（32 ～ 104 °F）
非動作時	–40 ～ 70 °C（–40 ～ 158 °F）	–40 ～ 70 °C（–40 ～ 158 °F）

表 13. サイズと重量

サイズと重量	Latitude E5430	Latitude E5530
縦幅	29.9 ～ 32.5 mm（1.17 ～ 1.27 インチ）	30.20 ～ 33.2 mm（1.18 ～ 1.30 インチ）
横幅	350.00 mm（13.70 インチ）	388.00 mm（15.27 インチ）
奥行き	240.00 mm（9.44 インチ）	251.00 mm（9.88 インチ）
重量	2.04 kg（4.50 ポンド）	2.38 kg（5.25 ポンド）

表 14. 環境

機能	仕様
温度：	
動作時	0 ～ 35 °C（32 ～ 95 °F）
保管時	–40 ～ 65 °C（–40 ～ 149 °F）
相対湿度（最大）：	
動作時	10 ～ 90 パーセント（結露しないこと）
保管時	5 ～ 95 パーセント（結露しないこと）
高度（最大）：	
動作時	–15.24 ～ 3048 m（–50 ～ 10,000 フィート）
非動作時	–15.24 ～ 10,668 m（–50 ～ 35,000 フィート）
空気中浮遊汚染物質レベル	G1（ISA-71.04–1985 の定義による）

追加情報

このセクションにはお使いのコンピューターに含まれる追加機能についての情報が記載されています。

ドッキングポートについて

ドッキングポートは、ラップトップ PC をドッキングステーション（オプション）に接続するために使用します。

1. 加入者識別モジュール（SIM）ポート
2. ドッキングポート

セットアップユーティリティ

概要

セットアップユーティリティでは以下の操作が実行できます。

- お使いのコンピュータでハードウェアの追加、変更、または取り外しを行った後のシステム設定情報の変更
- ユーザーパスワードなどユーザー選択可能オプションの設定または変更
- 現在のメモリ容量の確認や、取り付けられたハードディスクドライブの種類の設定

注意: エキスパートのコンピューターユーザーでない限り、このプログラムの設定を変更しないでください。変更内容によっては、コンピューターが正しく動作しなくなる場合があります。

セットアップユーティリティの起動

1. コンピューターの電源を入れます（または再起動します）。
2. 青色の DELL のロゴが表示されたら、F2 のプロンプトが表示されるのを注意して待機してください。
3. F2 プロンプトが表示されたら、すぐに <F2> を押します。

メモ: F2 プロンプトはキーボードが初期化されたことを示します。このプロンプトはすぐに消えるので、表示されるのを注意して待ち、<F2> を押してください。プロンプトが表示される前に <F2> を押した場合、キーストロークは無視されます。

4. キーを押すタイミングが遅れてオペレーティングシステムのロゴが表示されてしまったら、Microsoft Windows デスクトップが表示されるまでそのまま待機し、コンピュータをシャットダウンして操作をやりなおしてください。

セットアップユーティリティのオプション

メモ: お使いのコンピュータおよび取り付けられているデバイスによっては、本項に一覧表示された項目の一部がない場合があります。

表 15. General（全般）

オプション	説明
System Information（システム情報）	このセクションには、お使いのコンピュータの主要なハードウェア機能が一覧表示されています。 • System Information（システム情報）：BIOS Version（BIOS バージョン）、Service Tag（サービスタグ）、Asset Tag、Ownership Tag（所有者タグ）、Ownership Date（購入日）、Manufacture Date（製造日）、Express Service Code（エクスプレスサービスコード）が表示されます。 • Memory Information（メモリ情報）：Memory Installed（搭載容量）、Memory Available（使用可能な容量）、Memory Speed（速度）、Memory Channels Mode（チャネルモード）、Memory Technology（テクノロジ）、DIMM A Size（DIMM A のサイズ）、DIMM B Size（DIMM B のサイズ）が表示されます。 • Processor Information（プロセッサ情報）：Processor Type（種類）、Core Count（コア数）、Processor ID（ID）、Current Clock Speed（現在のクロックスピード）、Minimum Clock Speed（最小クロックスピード）、Maximum Clock Speed（最大クロックスピード）、Processor

オプション	説明
	L2 Cache（プロセッサ L2 キャッシュ）、Processor L3 Cache（プロセッサ L3 キャッシュ）、HT Capable（HT 対応）、64-Bit Technology（64 ビットテクノロジ）が表示されます。 • Device Information（デバイス情報）：Primary Hard Drive（プライマリハードドライブ）、Fixed bay Device（固定ベイデバイス）、System eSATA Device（システム eSATA デバイス）、Dock eSATA Device（eSATA ドッキングデバイス）、LOM MAC Address（LOM MAC アドレス）、Video Controller（ビデオコントローラ）、Video BIOS Version（ビデオ BIOS バージョン）、Video Memory（ビデオメモリ）、Panel Type（パネルのタイプ）、Native Resolution（ネイティブ解像度）、Audio Controller（オーディオコントローラ）、Modem Controller（モデムコントローラ）、Wi-Fi Device（Wi-Fi デバイス）、Cellular Device（携帯電話デバイス）、Bluetooth Device（Bluetooth デバイス）が表示されます。
Battery Information（バッテリー情報）	バッテリー状態とコンピュータに接続されている AC アダプタのタイプが表示されます。
Boot Sequence（起動順序）	コンピュータが OS の検出を試みる順序を変更することができます。 • Diskette Drive（ディスケットドライブ） • Internal HDD（内蔵 HDD） • USB Storage Device（USB ストレージデバイス） • CD/DVD/CD-RW Drive（CD/DVD/CD-RW ドライブ） • Onboard NIC（オンボード NIC）
Boot List Option（起動リストオプション）	起動リストオプションを変更することができます。 • Legacy（レガシー） • UEFI
Date/Time（日時）	日付と時刻を変更することができます。

表 16. System Configuration（システムの設定）

オプション	説明
Integrated NIC（内蔵 NIC）	内蔵ネットワークコントローラを設定することができます。オプションは以下のとおりです。 • Disabled（無効） • Enabled（有効） • Enabled w/PXE（PXE 付で有効）：このオプションはデフォルトで有効に設定されています。
System Management（システム管理）	システム管理機構を制御することができます。オプションは以下のとおりです。 • Disabled（無効）：このオプションはデフォルトで有効に設定されています。 • ASF 2.0 • Alert Only（アラートのみ） メモ: このアイテムは 非 Vpro システム専用です。

オプション	説明
Parallel Port（パラレルポート）	ドッキングステーションのパラレルポートを設定することができます。オプションは以下のとおりです。 • Disabled（無効） • AT: このオプションはデフォルトで有効に設定されています。 • PS2 • ECP
Serial Port（シリアルポート）	内蔵シリアルポートを設定することができます。オプションは以下のとおりです。 • Disabled（無効） • COM1: このオプションはデフォルトで有効に設定されています。 • COM2 • COM3 • COM4
SATA Operation（SATA 操作）	内蔵 SATA ハードドライブコントローラを設定することができます。オプションは以下のとおりです。 • Disabled（無効） • ATA • AHCI • RAID On（RAID オン）：このオプションはデフォルトで有効に設定されています。
Drives（ドライブ）	オンボードの SATA ドライブを設定することができます。すべてのドライブがデフォルトで有効に設定されています。オプションは以下のとおりです。 • SATA-0 • SATA-1 • SATA-4 • SATA-5
SMART Reporting（スマートレポート）	このフィールドにより、システム起動時に内蔵ドライブのハードドライブエラーを報告するかどうかを決めます。このテクノロジは、SMART（Self Monitoring Analysis and Reporting Technology）仕様の一部です。このオプションはデフォルトで無効に設定されています。 • Enable SMART Reporting（SMART レポートを有効にする）
USB Controller（USB コントローラ）	このフィールドでは、内蔵 USB コントローラを設定します。Boot Support（起動サポート）が有効の場合、システムはあらゆる種類の USB 大容量ストレージデバイス（HDD、メモリキー、フロッピー）から起動することができます。 USB ポートが有効の場合、このポートに接続されたデバイスは有効で、OS で利用できます。 USB ポートが無効の場合、OS はこのポートに接続されたデバイスを認識できません。 • Enable Boot Support（起動サポートを有効にする）

オプション	説明
	• Enable External USB Port（外部 USB ポートを有効にする） メモ: USB キーボードおよびマウスは、この設定に関係なく BIOS セットアップで常に動作します。
Keyboard Illumination（キーボードライト）	このフィールドでは、キーボードライト機能の動作モードを設定できます。キーボードの輝度レベルは 25 ～ 100 パーセントの間で設定できます。 • Disabled（無効）：このオプションはデフォルトで有効に設定されています。 • Level is 25%（レベル 25 パーセント） • Level is 50%（レベル 50 パーセント） • Level is 75%（レベル 75 パーセント） • Level is 100%（レベル 100 パーセント）
Miscellaneous Devices（その他のデバイス）	以下のデバイスの有効 / 無効を切り替えることができます。 • Enable Internal Modem（内蔵モデムを有効にする） • Enable Microphone（マイクを有効にする） • Enable eSATA Ports（eSATA ポートを有効にする） • Enable Hard Drive Free Fall Protection（ハードドライブのフリーフォール保護を有効にする） • Enable Fixed Bay（固定ベイを有効にする） • Enable Express card（Express カードを有効にする） • Enable Camera（カメラを有効にする） メモ: すべてのデバイスがデフォルトで有効に設定されています。 メディアカードの有効 / 無効を切り替えることもできます。

表 17. ビデオ

オプション	説明
LCD Brightness（LCD 輝度）	電源（バッテリーおよび AC）に応じてディスプレイの輝度を設定することができます。

メモ: ビデオ設定はビデオカードがシステムに取り付けられている場合にのみ表示されます。

表 18. Security（セキュリティ）

オプション	説明
Admin Password（Administrator パスワード）	Administrator（admin）パスワードの設定、変更、削除ができます。 メモ: システムパスワードまたはハードドライブパスワードを設定する前に、Admin パスワードを設定する必要があります。Admin パスワードを削除すると、システムパスワードとハードドライブパスワードは自動的に削除されます。 メモ: パスワードの変更はただちに有効になります。 デフォルト設定：Not set（未設定）
System Password（システムパスワード）	システムパスワードを設定、変更、または削除することができます。 メモ: パスワードの変更はただちに有効になります。 デフォルト設定：Not set（未設定）
Internal HDD-0 Password（内蔵 HDD-0 パスワード）	システムの内蔵ハードディスクドライブを設定または変更することができます。 メモ: パスワードの変更はただちに有効になります。 デフォルト設定：Not set（未設定）
Strong Password（強力なパスワード）	常に強力なパスワードを設定するオプションを強制することができます。 Default Setting（デフォルト設定）：Enable Strong Password（強力なパスワードを有効にする）は選択されていません。 メモ: Strong Password（強力なパスワード）を有効に設定すると、Admin パスワードとシステムパスワードに大文字と小文字をそれぞれ少なくとも 1 文字使い、8 文字以上の長さにしなければなりません。
Password Configuration（パスワードの設定）	Administrator パスワードとシステムパスワードの最小および最大文字数を設定することができます。
Password Bypass（パスワードのバイパス）	システムパスワード、内蔵 HDD パスワードが設定されている場合に、それらをバイパスする許可を有効または無効にすることができます。オプションは以下のとおりです。 • Disabled（無効） • Reboot bypass（再起動でバイパス） デフォルト設定：Disabled（無効）
Password Change（パスワードの変更）	Admin パスワードが設定されている場合に、システムパスワードとハードドライブパスワードを無効にする許可を有効にすることができます。 デフォルト設定 : Allow Non-Admin Password Changes（Administrator 以外のパスワードの変更を許可する）が選択されています。
Non-Admin Setup Changes（Administrator 以外のユーザーによるセットアップの変更）	Administrator パスワードが設定されている場合に、セットアップオプションの変更を許可するかどうかを決めることができます。無効に設定すると、セットアップオプションは Admin パスワードによってロックされます。
TPM Security（TPM セキュリティ）	POST 中に信頼済みプラットフォームモジュール（TPM）を有効に設定することができます。 デフォルト設定：オプションは無効です。

オプション	説明
Computrace	オプションの Computrace ソフトウェアを有効または無効にすることができます。オプションは次のとおりです。 • Deactivate（非アクティブ） • Disable（無効） • Activate（アクティブ） メモ: Activate（アクティブ）または Disable（無効）のオプションを選択すると、この機能が永久にアクティブまたは無効に設定され、後から変更することはできません。 デフォルト設定：Deactivate（非アクティブ）
CPU XD Support（CPU XD のサポート）	プロセッサの Execute Disable（実行防止）モードを有効にすることができます。 デフォルト設定：Enable CPU XD Support（CPU XD サポートを有効にする）
OROM Keyboard Access（OROM キーボードアクセス）	起動中にホットキーを使用して、Option ROM Configuration（オプション ROM 設定）画面を表示するオプションを設定することができます。オプションは以下のとおりです。 • Enable（有効） • One Time Enable（1 回のみ有効） • Disable（無効） デフォルト設定：Enable（有効）
Admin Setup Lockout（Admin セットアッププロックアウト）	Administrator パスワードが設定されている場合にユーザーがセットアップに入ることができないようにします。 Default Setting（デフォルト設定）：Enable Admin Setup Lockout（Admin セットアッププロックアウトを有効にする）は選択されていません。

表 19. Performance（パフォーマンス）

オプション	説明
Multi Core Support（マルチコアサポート）	このフィールドでは、プロセッサで有効になるコアの数（1 個または全部）を指定します。アプリケーションによっては、コアを追加することで性能が向上します。このオプションはデフォルトで有効に設定されています。プロセッサのマルチコアサポートの有効 / 無効を切り替えることができます。オプションは以下のとおりです。 • All（すべて） • 1 • 2 デフォルト設定：All（すべて）
Intel® SpeedStep™	Intel SpeedStep 機能を有効または無効にすることができます。 デフォルト設定：Enable Intel SpeedStep（Intel SpeedStep を有効にする）
C States Control（C ステートコントロール）	追加プロセッサのスリープ状態を有効または無効にすることができます。 デフォルト設定：オプションの C ステートは有効です。
Intel® TurboBoost™	プロセッサの Intel TurboBoost モードを有効または無効にすることができます。

オプション	説明
	デフォルト設定：Enable Intel TurboBoost（Intel TurboBoost を有効にする）
Hyper-Thread Control（Hyper-Thread コントロール）	プロセッサの Hyper-Threading を有効または無効にすることができます。 デフォルト設定：Enabled（有効）

表 20. Power Management（電力の管理）

オプション	説明
AC Behavior（AC 動作）	AC アダプタが接続されるとコンピュータの電源が自動的にオンになる機能を有効または無効にすることができます。 デフォルト設定：Wake on AC（ウェイクオン AC）は選択されていません。
Auto On Time（設定時刻に自動起動）	コンピュータが自動的に起動する時刻を設定することができます。オプションは以下のとおりです。 • Disabled（無効） • Every Day（毎日） • Weekdays（平日） • Select Days（選択した日） デフォルト設定：Disabled（無効）
USB Wake Support（USB ウェイクサポート）	USB デバイスをシステムに接続するとスタンバイモードからウェイクするように設定できます。 **メモ:** この機能は、AC 電源アダプタを接続している場合のみ有効になります。スタンバイモードで AC 電源アダプタを取り外した場合、バッテリーの電力を節約するため、セットアップユーティリティはすべての USB ポートへの電力供給を停止します。 • Enable USB Wake Support（USB ウェイクサポートを有効にする） • デフォルト設定: Enable USB Wake Support（USB ウェイクサポート）は選択されていません。
Wireless Radio Control（ワイヤレス無線コントロール）	物理的な接続に頼ることなく、ネットワークを有線または無線に自動的に切り替える機能を有効または無効にすることができます。 • Control WLAN Radio（WLAN 無線のコントロール） • Control WWAN Radio（WWAN 無線のコントロール） • デフォルト設定：Control WLAN radio（WLAN 無線のコントロール）または Control WWAN radio（WWAN 無線のコントロール）のどちらも選択されていません。
Wake on LAN/WLAN（ウェイクオン LAN/WLAN）	LAN 信号によってトリガーされた時にコンピュータをオフ状態からオンにする機能を有効または無効にすることができます。 • Disabled（無効）：このオプションでデフォルトで有効に設定されています。 • LAN Only（LAN のみ） • WLAN Only（WLAN のみ） • LAN or WLAN（LAN または WLAN）
Block Sleep（ブロックスリープ）	このオプションでは、OS の環境でスリープ（S3 ステート）に入ることを防ぐことができます。

オプション	説明
	Block Sleep (S3 state)（ブロックスリープ（S3 ステート））- このオプションはデフォルトで無効に設定されています。POST
Primary Battery Configuration（プライマリバッテリー設定）	バッテリーの充電モードを選択することができます。オプションは以下のとおりです。 • Standard Charge（スタンダード充電） • Express Charge（高速充電） • Predominately AC use（主に AC 使用） • Auto Charge（自動充電）：このオプションはデフォルトで有効に設定されています。 • Custom Charge（カスタム充電） Custom Charge（カスタム充電）が選択されている場合は、Custom Charge Start（カスタム充電開始）と Custom Charge Stop（カスタム充電停止）も設定できます。 メモ: バッテリーによっては、一部の充電モードが使用できない場合もあります。
Battery Slice Configuration（バッテリースライス設定）	バッテリー充電のタイプを選択することができます。オプションは以下のとおりです。 • Standard Charge（スタンダード充電） • Express Charge（高速充電）：このオプションはデフォルトで有効に設定されています。 メモ: 高速充電は一部のバッテリーでは使用できない場合があります。

表 21. POST Behavior（POST 動作）

オプション	説明
Adapter Warnings（アダプタの警告）	特定の電源アダプタを使用する場合に、セットアップユーティリティ（BIOS）の警告メッセージを、有効または無効にすることができます。 デフォルト設定：Enable Adapter Warnings（アダプタ警告を有効にする）
Keypad（キーパッド）	内蔵キーボードに組み込まれているキーパッドを有効にする 2 つの方法のうち、1 つを選択することができます。 • Fn Key Only（Fn キーのみ）：このオプションはデフォルトで有効に設定されています。 • By Numlock（Numlock を使用）
Mouse/Touchpad（マウス / タッチパッド）	マウスとタッチパッドからの入力をシステムがどう処理するかを定義することができます。オプションは以下のとおりです。 • Serial Mouse（シリアルマウス） • PS2 Mouse（PS2 マウス） • Toushpad/PS-2 Mouse（タッチパッド /PS-2 マウス）：このオプションはデフォルトで有効に設定されています。
Numlock Enable（Numlock 有効）	コンピュータの起動時に Numlock オプションを有効にすることができます。 デフォルト設定：Enable Network（ネットワークを有効にする）

オプション	説明
Fn Key Emulation（Fn キーエミュレーション）	<Scroll Lock> キーを使用して、<Fn> キーの機能をシミュレートするオプションを設定することができます。 デフォルト設定：Enable Fn Key Emulation（Fn キーエミュレーションを有効にする）
POST Hotkeys（POST ホットキー）	サインオン画面のメッセージ表示を有効にすることができます。このメッセージには、セットアップユーティリティのオプションメニューにアクセスするキーストロークシーケンスが示されます。 デフォルト設定：Enable F12 Boot Option Menu（F12 起動オプションメニューを有効にする）

表 22. Virtualization Support（仮想化サポート）

オプション	説明
Virtualization（仮想化）	Intel Virtualization Technology を有効または無効にすることができます。 デフォルト設定：Enable Intel Virtualization Technology（Intel Virtualization Technology を有効にする）
VT for Direct I/O（直接 I/O 用の仮想化テクノロジ）	ダイレクト I/O 用に Intel® Virtulization テクノロジによって提供される付加的なハードウェア機能を仮想マシンモニター（VMM）が利用するかどうかを指定します。 Enable VT for Direct I/O（直接 I/O 用の仮想化テクノロジを有効にする）— このオプションはデフォルトで有効に設定されています。
Trusted Execution	このオプションでは、Intel Trusted Execution Technology によって提供される付加的なハードウェア機能を Measured Virtual Machine Monitor（MVMM）が利用できるようにするかどうかを指定します。この機能を使用するには、TPM Vitalization Technology、および VT for DirectI/O（直接 I/O 用の仮想化テクノロジ）を有効にする必要があります。 Trusted Execution — デフォルトで無効に設定されています。

表 23. Wireless（ワイヤレス）

オプション	説明
Wireless Switch（ワイヤレススイッチ）	ワイヤレススイッチで制御できるワイヤレスデバイスを設定することができます。オプションは以下のとおりです。 • WWAN • WLAN • Bluetooth すべてのオプションがデフォルトで有効に設定されています。
Wireless Device Enable（ワイヤレスデバイスを有効にする）	内蔵ワイヤレスデバイスを有効または無効にすることができます。 • WWAN • WLAN • Bluetooth すべてのオプションがデフォルトで有効に設定されています。

表 24. Maintenance（メンテナンス）

オプション	説明
Service Tag（サービスタグ）	お使いのコンピュータのサービスタグが表示されます。
Asset Tag	Asset Tag が未設定の場合、システムの Asset Tag を作成することができます。このオプションはデフォルトでは設定されていません。

表 25. System Logs（システムログ）

オプション	説明
BIOS Events（BIOS イベント）	セットアップユーティリティ（BIOS）の POST イベントを表示またはクリアすることができます。

Diagnostics（診断）

Diagnostics（診断）

表 26. デバイスステータスライト

	コンピュータに電源を入れると点灯し、コンピュータが省電力モードの場合は点滅します。
	コンピュータによるデータの読み書きの際に点灯します。
	点灯または点滅によって、バッテリーの充電状態を示します。
	ワイヤレスネットワークが有効になると点灯します。

コンピュータがコンセントに接続されている場合、バッテリーライトは次のように動作します。

表 27. バッテリーステータスライト

黄色と青色が交互に点滅	認証またはサポートされていない、デル以外の AC アダプタがラップトップに接続されている。
黄色が短く、青色が長く交互に点滅	AC アダプタに接続されており、一時的なバッテリーの不具合が発生した。
黄色が連続的に点滅	AC アダプタに接続されており、バッテリーに重大な障害が発生した。
消灯	AC アダプタに接続されており、バッテリーがフル充電モードになっている。
白色の点灯	AC アダプタに接続されており、バッテリーが充電モードになっている。

キーボード上部のライトが示す意味は、以下のとおりです。

表 28. キーボードステータスライト

	テンキーパッドが有効になると点灯します。
	Caps Lock 機能が有効になると点灯します。
	Scroll Lock 機能が有効になると点灯します。

デルへのお問い合わせ

デルへのお問い合わせ

メモ: お使いのコンピュータがインターネットに接続されていない場合は、購入時の納品書、出荷伝票、請求書、またはデルの製品カタログで連絡先をご確認ください。

デルでは、オンラインまたは電話によるサポートとサービスのオプションを複数提供しています。サポートやサービスの提供状況は国や製品ごとに異なり、国 / 地域によってはご利用いただけないサービスもございます。デルのセールス、テクニカルサポート、またはカスタマーサービスへは、次の手順でお問い合わせいただけます。

1. **support.dell.com** にアクセスします。
2. サポートカテゴリを選択します。
3. 米国在住以外のお客様は、**support.dell.com** ページ下の国コードを選択してください。**All** を選択するとすべての選択肢が表示されます。
4. 必要なサービスまたはサポートのリンクを選択します。